

298
9
1516

山本金一郎編纂

租稅纂論

全

明治十七年六月刊行

特

040695-000-6

特16-50

租稅原論

山本 金一郎/編

M17.6

BDE-0389



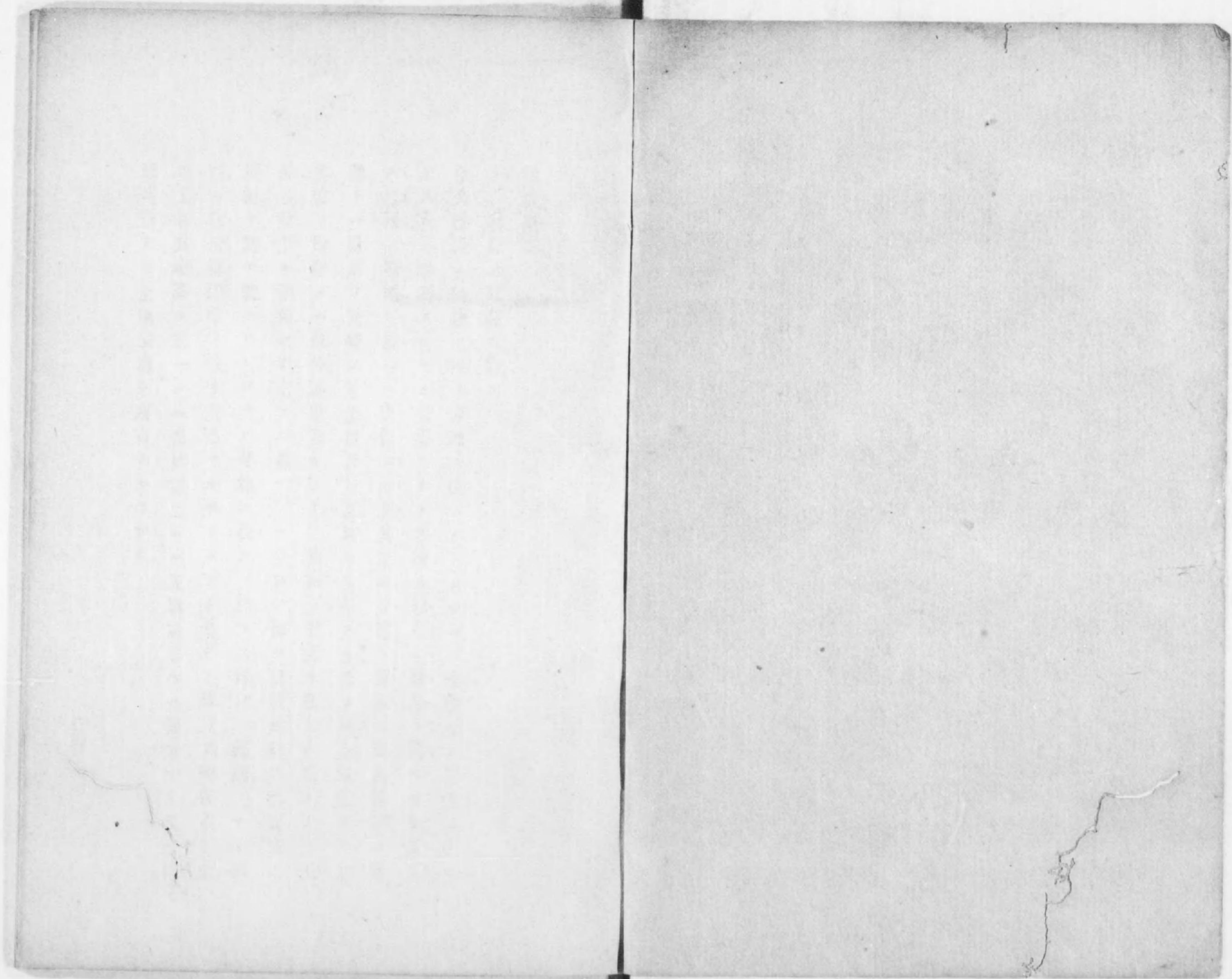
298
9
1516

山本金一郎編纂

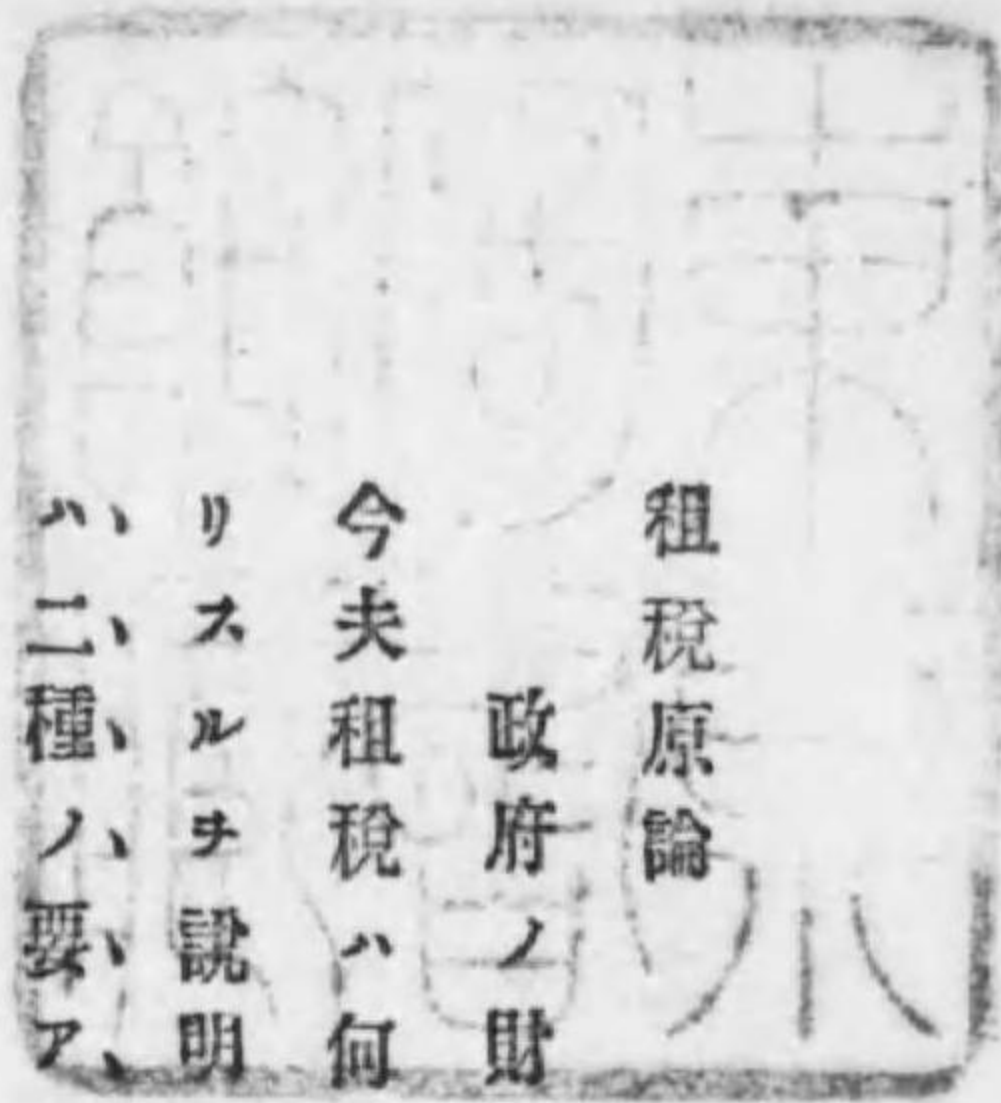
租稅纂論

全

明治十七年六月刊行



持16
50



租稅原論

政府ノ財源ヲ論ス

今夫租稅ハ何物タルノ原理ヲ論セントスルニハ先政府ノ財源何レヨ
 リスルヲ説明スベキヲ必要ナリトス抑モ政府ハ財源ト爲スベキ者ニ
 ハ二種ノ要アリ、其一ハ通常ノ財源其二ハ非常ノ財源ナリ其通常ノ財
 源トハ政府ノ管有スル土地及ヒ工場ヨリ生スル所ノ利金租稅ナリ其
 非常ノ財源トハ内外國債是ナリ上ノ通常ノ財源モ往昔ニ在リテハ王
 侯各封土ヲ分有シテ主トル者ナレハ今日ノ如ク租稅ヲ以テ大政府ノ
 財源ト爲ス能ハサリシナリ今世ニ在テハ然ラス何レノ邦國トナク租
 稅ハ政府財源中ノ最モ重要ナルモノトセリ而シテ政府ノ所有スル土
 地工場其類多ク第一ニハ森林第二ニハ工場第三ニハ株金ナリ又一州
 縣ニ於テモ土地工場ヲ所有スルコトアリ

政府所有ノ土地トハ大凡森林牧畜場ヲ指シ其他池沼養魚場葡萄園ノ如キモ亦其政府財源ノ一部分ヲ占メ収入スルコト爲セリサレハ植物試檢場ノ如キハ政府ノ所有ナルモ學術研究ノ用ニ供スル者ナレハ財源トシテ収入ス可キ者ナシ

政府ハ此等ノ種類ノ如キ者ヲ有スヘキモノヤ又有スルルハ其利害ハ如何トスルニ或ハ信ス森林ヲ除クノ外ハ工場牧畜場等ヲ有スルハ害アルモ寧ロ利ナカラントス大凡政府ノ事業ヲ爲スヤ冗員ヲ使用シ不急ノ費用ヲ使消シテ不熟練ナル吏員ニ委テソヨリ寧ロ一個人ノ該業ニ熟達シタル人ニ業ヲ取ラシメ人民ニ放任スルニ如カサルナリ森林ニ至リテハ然ラス吏役スルモ工場ノ如ク冗員ヲ要セス且森林學博士ノ說ニ因レハ森林ノ濫伐ハ氣候ヲ變シ河流ヲ阻碍スルコト甚クシト人民ヲシテ之ヲ有セシムルルハ濫伐ノ患アルヲ免レヌ是政府ノ管有セ

サルベカラサル所以ナリ概シテ官民管有ノ利害ヲ論スルルハ大凡一個人ノ爲ス事ハ自己ノ利アルヲ知リテ公益ノ重ス可キヲ知ラス自己ノ利アルコトヲ知レハ森林ヲモ變シテ葡萄園ト爲シテ利ヲ謀ルカ如ク又大樹巨木ハ培養スルニ少ナクモ三十年四十年ヲ經由セサルヲ得ス一個人ニシテハ斯ノ如キ年月ノ長キヲ待ツテ好マンヤ必ス早ク刀鋸ヲ下スナルヘシ此弊害ヲ防止スルヤ政府ニアラスンハ能ハサルナリ近頃ニ至リテハ材木ノ高價ナルハ偏ニ濫伐ノ結果ナリ今日ノ現況ヲ以テ推セハ工業ハ日ニ進ミ月ニ盛ンニ材木ノ需用前日ニ倍蕪ス濫伐ノ弊防止セズンハアルヘカラサルナリ政府ノ森林ヲ有スル濫伐ノ憂ナク假令三十年四十年ノ成木ヲ俟テ伐期ヲ延長スルハ一個人ニハ實ニ堪ヘ難キ事ナルモ政府ハ容易ニ永遠ヲ計畫シ得ラルヘシ而シテ政府ノ森林ヲ管有スル特ニ濫伐ノ患ナキノミナラス利ヲ得ルモ亦巨大ナ

リトス利ヲ得ル巨大ナレハ租税ヲ減スルモ隨テ國費支弁ニ障リナカ
ルヘシ佛國ノ當時コアリテ得ル所ノ利金ハ年々二百五十万ノ巨額ニ
達セリ李國ニ於テハ政府所有ノ土地工場ヲ佛政府ニ比較スレハ更ニ
大ナリ其歲入ハ年々三百万圓ナリトス英國ニアリテハ政府所有ノ土
地甚タ少シ其歲入ハ僅ニ百万圓ナリ

前條ハ政府土地牧場ヲ所有スルノ利害ヲ説明シタル者ニシテ次ニ再
ヒ政府工業者トナリ工場ヲ有スル利害ヲ説明セントス

政府工業者トナルノ利害

政府ノ工場ヲ有シ工業者トナルノ利害ヲ說フニ先佛國政府ノ如キハ
煙草製造ノ工場ヲ有シ工業者タリト云フベシ蓋シ煙草製造ハ佛國ニ
在テハ特ニ政府ノ有スル所ニシテ人民ノ之ヲ製スルヲ嚴禁セリ此特
權タル實ニ一種ノ租税ニ異ナラス何トナレハ人民ハ競賣ノ利ヲ享有

スルヲ能ハス必ス政府ニヨリテ買ハサルヲ得サレハナリ熟ラ考フル
ニ政府ノ工業者トナリ工場ヲ有スルハ甚タシキ害アリトスベシ政府
ハ元來頗多ノ資本ヲ有スル者ナレハ人民ノ工業者ト競賣スルハ人
民ハ之ニ抗敵ヲ爲ス能ハサルベシ故ニ曰政府ハ假令工業者タラシム
ルモ人民ノ工業ヲ鼓舞獎勵スル迄ニシテ止リテ可ナリ苟モ利ヲ網ス
ベキ者コアラズ然リト雖モ又工業ニヨリ政府ノ從事シテ人民ノ利益
トナルヘキ者アリ鑛、道、築、造、ノ如キ是ナリ蓋シ鑛道ヲ建築スルニハ非
常ノ資本ヲ要セサルベカラス且又其成功ハ遠大ナルモノニシテ半途
ニシテ工事ヲ廢スルヲ保チカタク又建築ノ位地ノ如何ニヨリテ戰
時ニ關係ヲ有ツ少シトセス宜シク政府工業者トナリ其事業ヲ起スベ
シ然リト雖モ其運用者ハ會社又ハ一己ノ人民ニ委テ爲サシムヲ可
ナリトスベシ

李國政府ハ食鹽ノ製造者ニシテ年々得ル所ノ金額ハ大凡三百萬圓ナリ英佛ニ於テハ此ノ種ノ特權ナシ又李國政府ハ鑛山開發モ自カラ任シテ從事セリ

政府ハ工業者トナリ又或ハ農業者トナリテ利ヲ射ルコトノ當然ノ務タルヤ否ノ問題ニ對シテ社會黨ニ其名ヲ知ラレタル「フリウドン氏」曰政府ハ宜シク恩惠ニシテ事ヲ爲スヘシ苟モ利ヲ謀ルヘカラスト政府ニシテ利ヲ征ントスルハ不可ナリト雖モ其費ス所ヲ償フハ不可ナカルベシ豈恩惠ヲ事トセシヤト此元則ハ政府專ラ服膺シテ忘ルベカラスト然シナカラ若シ政府今日迄工業ニ從事シテ利ヲ計リ歲入幾分ニ供用シタリシテ突然其利ヲ棄テ顧ミサルキハ忽チ財政ノ困難眼前ニ生シ重歛ヲ課セサルヲ得ス然ル時ハ從來ノ如ク利ヲ計ルモ寧ロ重歛ヲ課セサルニ優ルヘキナリ

佛國現今ノ法ニテハ鑛道運用ノ事業ハ會社ニ委任セリ會社ノ得ル所ノ利ハ年々四千五百萬前後ナリ政府自ラ運用者トナラハ即チ同額ノ利益ヲ收入シ得ヘシ政府ニシテ如此ノ利ヲ得タラシムニハ租稅ヲ減スルカ又ハ鑛道ノ賃金ヲ減スベシ然ル時ハ人民ノ便利タルモ亦多シ政府ノ工業者トナル又概シテ未便ナリト爲スヘカラスト此等ノ事業ハ政府ノ工業者トナリテ至極美事ナリトモ賞ス可シ

政府ノ株金ヲ所有スルヲ論ス

政府ノ株金ヲ所有スルトハ内國或ハ外國ノ會社ノ株主トナル是ナリ李國ハ外國公債証及ヒ内外ノ會社ノ株主トナリ株券ヲ有スルコト甚タ多シ抑モ此財源ハ戰時或ハ財政ノ困難ヲ救フ爲メ必要ナルモノナリ戰時ニ當テ内外國債ヲ起スコトハ容易ニ爲スヘカラスト宜シク之カ備ヲ爲スヘキカタメナリ

李國ヲ除クノ外歐朱ニ在テハ政府工場ヲ有スルコト少シ予ハ希望ス政
 府ハ森林ノ所有者鑛道ノ建築者タラソコト
 一都府ニ於テモ亦土地ヲ有シ工場ヲ所有スルコトアリ政府ノ土地及ヒ
 工場ヲ有スルヨリモ最モ要用トナス者ナリ佛國巴里府ノ如キハ所有
 物ヨリ収ムル額ハ府費五分ノ一ヲ支弁スル程ノ巨額ニ上レリ即チ其
 金額四百四十万ナリトス其所有スル所ノ株ハ府内ニ流通スル水道及
 ヒ府内ニ基布スル瓦斯燈トス

政府ノ財源ハ租稅

前ニ既ニ述ヘタル如ク往昔ニ在テハ政府ノ財源ハ租稅ニアラスシテ
 各王侯カ占有封安スル所ノ者ニシテ王侯ノ財源ハ即チ封土ニ取リタ
 リシモ今日ニ在リテハ租稅ハ政府財源中最モ欠クヘカラサル重要ノ
 モノナリ

租稅トハ如何ナル性質ヲ備ヘタルモノヤヲ論ス

凡ソ租稅タルモノハ政府ノ費用額ヲ支弁セン爲メ公權ヲ以テ國民ニ
 令シ直接或ハ間接直接間接ノ例ハ下條詳ニ云フベシニ納メシムルノ
 賦課金ナリ尙詳ニ租稅ノ如何ヲ約言スレハ則チ一國共同ノ出費ヲ各
 國民ヲシテ分擔セシムル賦金ナリ租稅ノ性質ハ既ニ此ノ如クナルカ
 故ニ政府ノ一國ノ爲メ費ス所ノモノハ其行爲ノ善タル惡タルニ論ナ
 シ國民ハ其出費ヲ爲スヘキノ義務アル者トス故ニ曰ク租稅ハ其出費
 ハ如何ナル方法ナリヤヲ論セス各國民ハ分擔スヘキノナリト或人
 反對ノ說ヲ爲シテ曰如何ナル理由ニ依テ國民ハ租稅ヲ分擔スルヤ他
 ナシ政府ノ國民ニ對シテ爲シタル仕事アレハナリ租稅ハ即チ其賃銀
 ナリトノ反對ハ其是ニ似テ非ニ租稅ノ義解ヲ誤リ當チ失ヒタルノ說
 ニアラスヤ如何トナレハ若シ租稅ヲシテ或人ノ說ノ如ク賃銀ナリト

ノ性質タリト認ムルハ實ニ恐ルベキ結果ヲ見ルベキナリ其結果ト
 ハ則チ國民ハ現在利益ヲ受クヘキ事業ノ報酬即チ賃銀ハ拂フベキモ
 既往ト將來ニ渉ルモノハ出費ヲ弁償スルノ租税ハ出スノ義務ナキニ
 至ルナリ是國民ノ義務ヲ尽スベキ道理ニ反キタルモノト云フヘシ如
 何ト云フニ既往ハ利益ヲ受ケサル者ナレハ既往ニ係ル費用ヲ負擔セ
 スト云フカ決シテ云フ可カラス既往ノ費用ハ國民一般連帶ノ義務ヲ
 負スル者タルハ明瞭ナリ但シ此既往ノ事業タル假令直接ノ利益ヲ享
 有セサルモ古人ニ在テハ利益アリトシタル者ニシテ今人モ共ニ其利
 益ヲ享有スヘケレハナリ又政府ハ無用ノ事業ヲ企テ無益ノ出費ヲ爲
 ス時ト雖モ國民タルモノ宜シク之カ支弁ヲ爲サ、ルヘカラス然ルニ
 或人ノ説ノ如ク政府ノ爲シタル賃銀ナリトスルキハ宜シク之ヲモ拒
 ミテ敢テ害ナキ者ノ如クナレモ決シテ然ラス或人ノ説ノ如クナラシ

メハ實ニ恐ルヘキ結果ヲ見ルベキナリ租税ノ性質ヲ論究スルノ如何
 ニヨリ其結果ニ善惡ノ差ヲ生スル事實ニ霄壤ノミナラサルナリ是ヲ
 以テ現今ハ何レノ國何レノ政府ニ於テモ租税ハ賃銀ニアラスシテ消
 費ノ如何ニ關セス國民ハ分ニ應シ賦課セラレベキ者トス北米合衆國
 ニ於テ奴隸廢止ノ戰爭後許多ノ償却スベキ負債アリテ内外ノ責ヲ負
 擔スベキニ際シ政府ハ宜シク國民ニ賦課シテ其負債ノ弁償ヲ終ヘサ
 ルベカラス然ルニ當時合衆國ノ輿論ニ曰ク戰爭ハ國ノ爲メ凶事ナリ
 而シテ國ノ爲メ毫モ益ナク又國民ノ爲メニ爲シタル事業ニアラス故
 ニ國民ハ此戰爭ノ費用ヲ負擔弁償スベキノ義務ナシトノ説當時ニ在
 テ勢力ヲ占メ輿論ノ贊成スル所トナレリ抑モ此ノ説タル上ニ舉ク
 ル或人ノ租税ハ政府ノ仕事ノ賃銀ナリトノ説ヨリ起リタルモノナレ
 モ若シ此ノ説ヲシテ充分勝利ヲ占メ輿論ヲ支配セシムルニ至レハ政

府ハ不測ノ信用ヲ失フヘシ政府信用ヲ失スレハ立タス是說ヤ一時勢
力ヲ占メ機ニ投スルモ道理ニ反キタル政府ノ壊圻顛亂スルノ說ニ非
スシテ何ソヤ試ニ見ヨ政府若シ假リニ無益ノ出費ヲ爲シタルモノト
セヨ國民ハ卽チ前說ヲ稱ヘテ負擔ヲ拒ミ肯セサルヘシ然ル時ハ政府
負債償却ノ道ヲ失フ者ナレハ此ノ如キ說ノ行ハレ若シ政府カ執行ス
ル所國民ノ益アリトシ認メサルキハ國民ハ其費用ノ弁償ヲ肯セサル
者トシテ政府ニ對シ金ヲ貸込者ハナキニ至ルヘシ而シテ之チ一層鐵
密ニ論セハ假令政府十萬圓ノ仕事ヲ爲シタルニ國民ニ利スル所五萬
圓ニ過キサレハ國民ハ五萬圓ノ支弁負擔ヲ爲スニ止ルベシ豈危殆ナ
ラスヤ又一ノ譬ヲ設ケハ或人負債ヲ起シテ無益ニ消費シタル後ニ於
テ債主ニ對シテ曰卿ノ貸ス所ノ金圓ハ我輩之チ使用シテ裨益ナカリ
シニ依リ固ヨリ債主ニ返金スルノ責ナシト云ヘハ人誰カ之チ至當ノ

言論ナリト爲サソヤ人ノ之チ許サ、ルハ信スル所ナリ租稅ニ於ケル
モ亦然リ政府ハ假令無益ニ消費スル時ハ國民ニ益ナシ負擔スヘカラ
ストセハ政府ハ何チ以テ信用ヲ内外財主ニ得ヘケンヤ政府ノ信用立
サレハ一國何ニ因テ統治センヤ(以上ハ立憲國ニ付テ論スル所ニシテ
租稅ハ國民ノ代議士ノ議スル所ヲ徵集スルノ論ナリ)又或人租性質ヲ
解釋シテ曰租稅ハ政府ノ國民ヲ保護スルノ保險料ナリ各人社會ヲ爲
シタル上ハ内外騷擾ヲ保護スルニハ國民タル者其保險料ヲ拂ハサル
チ得ス尙政府ハ國民ニ向テ謂ク政府ハ汝等ノ安寧幸福ヲ保護ス汝等
宜シク財產ノ一分ヲ政府ニ納メ保險料ヲ拂フベシト卽チ人民安寧幸
福ノ保險料タリトノ解釋ハ仕事賃ノ說ト相對シテ其當チ失シタル說
ト云フヘシ

前記ノ當チ失シタル者ナリトスル所以ノ者ハ第一ニ一國ノ進歩ヲ計

ルヘキ事業ヲ度外ニ置ク是ナリ假令ハ鎮道布設ノ如キ業ヲ起スハ國民ヲ保護スルノ事業ニアラサレハ政府ノ振テ率先セサルヘカラサル者ナレハ保險料トシテ租税ヲ見ルヘカラサルナリ第二ニハ彼カ説ノ如ク保險料ナリト爲ス時ハ保險會社ナル者ハ其保險ヲ委托セシ事業ニ對シ受保者ノ爲ニ損害ヲ來スルハ保險會社ハ又其損害ヲ償フノ責ニ任セサルヲ得ス一千万圓ノ保險ニ對シ損害アルトハ該一千万圓ヲ償フヘシ政府ニ於テハ然ラス政府ハ盜ヲ警メ賊ヲ捕獲シテ保護ヲ爲セヒ未タ被害者即チ被盜者ニ對シ其損害ヲ償フノ責ニ任セス惟其公訴訟訴ヲ裁判スルノ務アルノミナリ然ラハ保險料ト性質ヲ異ニスルハ論ヲ竝タサルナリ是ニ於テ最モ簡易ニ適當セル義解ヲ再ヒ之ヲ與ヘントスレハ則チ租税ナルモハハ政府ノ出費ヲ國民ノ分擔スベキ部分ト租税ト云フナリ或人租税ノ性質ヲ論スルニ當テ二個ノ原則ヲ提

出セリ

第一租税ヲ賦課スルハ如何ナル費用タルモ一國ニ取リテハ無害有益ノモノタリトス

其理如何ト云フニ政府ニ向ヒ國民ヨリ上納セシムル租税ハ實ニ僅々タルモノニシテ其最大ナル部分ハ政府ヨリ官吏ニ給シ其他ノ部分ハ政府ヨリ供給者ニ拂ヒ出スモノナレハナリ然ラハ租税ハ國民ヨリ取テ又國民ニ仕拂フ者ナレハ徵集シタル租税ハ國外ニ出ツルコトナク國民ニ取テ國民ニ復スル者ナレハ一國ノ上ヨリ見レハ損害アルコトナシ或人ハ譬喻シテ雨ノ降ルハ地上ヨリ蒸發シテ昇リシモノ、如ク宇宙間水分ノ増減ナキカ如シト云ヘリ嗚呼是説モ亦誤謬ノ甚クシキ者ト云フヘシ右等ノ如キ謬説ニ一步ヲ讓リテ論シ起セハ如何ナル危險ノ結果ヲ爲スカチ見ヨ右ノ説ニ據ルキハ租税ハ國民ニ徵集スルモ國民

ニ給スル者ナレハ如何程増加スルモ益アリ害ナシトモハ政府不急ノ
土木ヲ起シテ無益ノ仕拂ヲ爲シ租税ハ國民ノ手ニ落ツルモノナレハ
増額スルモ害ナシトモヤ是ニ政府公ケニ祭祀ヲ爲サントスルニ其
祭事ニ要スル諸物品ヲ購求スルニ其諸品ヲ供給スル商賈ハ將ニ云ハ
ントス祭事ハ一國ノ善事ナリト其祭祀ニ關スル傭雇人等ハ楊々自得
ノ色ヲ見ハシテ謂ヘラク祭祀ハ一國ノ好事ナリト然リト雖モ此ノ祭
祀ニ就キ商賈傭人等ニ給スル金タルヤ天ヨリ降り地ヨリ湧クモノニ
アラズ正シク是レ一國地方ノ民ヨリ徵集シタル租税ニアラス此ノ如
キ謬説ヲ爲スノ危険ハ恐ルヘキナリ前説ヲ維持スル者ハ到底一方ニ
損スルモ一方ニ益スレハ一國ノ金ニ増減ヲ來サ、レハ何ソ不利アラ
ソヤト夫然リ豈其然ランヤ一方ニ徵シ一方ニ費スハ不正不當ト云フ
ベシ如何ナル理由アリテカ彼ノ一方ヲ損シテ此ノ一方ヲ益スルヤ不

公偏倚ノ費用ハ是不正ノ費ト云フベシ前ノ祭祀ニ依リテ國家ハ益ト
ナルヘキ事物ノ生殖シタル事ナケレハ無益ノ費用勞動ニ有益ノ金錢
勞動ヲ徵スルモノト云フヘシ若シ此祭祀ニ費用セシテ租税ヲ徵セ
ス依然國民ノ手ニ在ラシメハ必スヤ有益ノ事ニ費消スヘキモノナレ
ハナリ假令家ヲ造リ土地ヲ購ヒ生産ノ道ヲ弘ル人夫ヲ傭ヒテ荒蕪ノ
地ヲ開拓スル等ノ事業ハ之ヲ要スルニ必需ノ金トシテ用ヒ一國ヲ富
榮ナラシムル資ニ充ルニ足ル此ノ如キ有用必需タル裨益ノ資ヲ徵シ
有害無益ノ事業ヲ爲スハ國家ノ善事ニアラサルハ論ヲ嫉スシテ知ル
ヘシ恰モ資金ヲ徵集シテ蒼海中ニ投棄スルニ異ナラサルナリ其益ナ
キ知ルベシ此ハ公祭ハ謬説ハ或人ハ第一説ヲ駁撃闡明スルニ足ルベ
シ今尙他ノ一例ヲ提起シテ再ヒ駁セントスルニ或人第一説ニ因レハ
戰爭ナルモノハ固ヨリ不得已モノニシテ免ルベカラサルモノナリ故

ニ經濟上ニ於テモ寧ロ有益無害ナリ抑モ其理ハ戰爭ニ因テ政府ノ費
 大所ノモノハ將校兵士ノ給ヲ拂ヒ軍事ニ必需ノ諸品ヲ購求スルコ在
 リ戰爭アルカ爲メ將校兵士モ其財ヲ尽シ重事ノ諸品ヲ發售スル商賈
 モ其生ヲ聊シ大ニ利スル所アリ假令政府戰爭ニ費ス所十萬圓トスレ
 ハ少クモ八九萬圓ハ將校兵士及ヒ供給ニ仕拂カ故ニ一國ノ爲ニ取
 テハ更ニ害ナシ是レカ爲メ商賈モ業ヲ盛ンニシ人夫モ生計ヲ立ツル
 ニ至ルトノ說ナレモ實ニ是ニ似テ非ナルノ說ニシテ熟考セサレハ能
 ハサルナリ政府ノ將校兵士ヲ養フ固ヨリ已テ得サルニ出ルト雖モ若
 シ兵士ヲシテ徒養セス此輩ヲシテ荒蕪ノ地ヲ開墾シ或ハ農事ニ力役
 セシムルハ一國ノ經濟上ヨリ見レハ實ニ大ナル益アルヘキナリ政
 府ノ軍器ヲ購求シ兵士ノ被服ヲ製シ糧食ヲ備フルカ如キ皆是軍事ノ
 爲メナラスヤ若シ戰爭ヲ要セサルハ兵士ヲ養ヒ軍器ヲ調製シ糧食

ヲ備フルノ資金ヲ以テ道路ヲ修繕シ海港ヲ開ク等ノ一國利益ト爲ル
 ヘキ事業ニ費シ一國ノ利益トナルベキ有用ノ資金ト爲スヲ得ヘシト
 云フヘシ然リト雖モ戰爭ハ無用ナリ其費ハ不正ナリト云フニハアラ
 ス戰爭ノ用ト不用ト其費ノ正ト不正トハ政界上ヲ議論ニシテ今經濟
 上ノ論ニ在リテハ敢テ關スル所ニ非ス眼前得失ヲ經濟上ニ論スレハ
 有害ナルモ利益アルコトナシ

前ノ二件ノ譬喩ノ如ク或人ノ說ハ眞ニ誤謬ノ甚クシキ者ト云フヘシ
 今將ニ之ニ反シテ義解ヲ下サントス

租稅ハ國ノ爲メ不善ナルモノナリ不利ナル者ナリ假令政府ハ國ニ
 向テ多少ノ仕事ヲ爲スト雖モ政府ノ之ヲ徵集スルハ不善タルヲ
 免カレヌ

ト反對ヲ解テ下スニ又或人ハ第二ノ說ヲ起シテ曰

租税ハ國民ヲシテ經濟節儉ノ精神ヲ攪起セシメ勞働ノ熱心ヲ獎勵セシムルモノナリ

ト之ヲ譬フレハ一箇人ノ勞働ヲ一日八時宛トスルモ其得ル所稍ク生計ヲ營ムニ足ルト假定シ今租税ヲ拂フノ料ヲ生セシムヘキ爲メ一時ヲ増シ九時間ト爲サハ租税ヲ納ル、ニ指圖ナカルヘシ而シテ其餘力ノ一時ヲ以テ徵集シタル租税ヲ以テ國家有用ノ事ニ消費スルモハ即チ一國ノ富ヲ増加スルナリ故ニ租税ハ一國ノ爲メニハ善事ニシテ愈微セハ國民愈ニ奮勵シ國家愈ニ富強ニ至ルヘシトノ説ハ全ク理ナキニアラサルモ亦是誤謬ノ説タルヲ免カレサルナリ何方カ誤謬ノ説ト云重税ハ國民ノ奮勵心ヲ増スト是レ何ノ言ソヤ凡ソ人タル者ハ勞働ヲ爲ス各程度ナカルヘカラス若シ漫リニ奮勵心ヲ鼓舞セントシ重税ヲ課セハ人民ハ其苛歛ニ堪ヘス將ニ死ニ入ラノス是レ内外古今ノ史

乘ニ載テ明白ナリ故ニ予ハ反對シテ曰租税ハ人民ヲ害スル者ナリ人ノ勞働ニハ際限アリ強ユヘキニアラス立法官タル者宜シク注意シ程度ヲ超ユヘカラス前ニモ陳ルカ如ク租税ハ重苛ノ偏ナキ時ハ決シテ害ナキモノナレモ元來人民ハ器械ト異ニシテ器械ハ運動度ニ過クルモ其害ヲ見サレモ人ハ否ラス勞働セシムルモ亦幾干カ安寧幸福歡樂ノ念ヲ與ヘサルヘカラス如何トナレハ器械ハ運動ノ功アリテ智識才能ノ益ナシ人ハ運動ヲ爲スニ智識才能ノ發達ヲ培養セサレハ且夕刻苦勞働ヲ爲スモ利益ヲ見サルニ至ル智識才能ノ發達ヲ害シ漫リニ苛虐ノ重歛ヲ爲セハ精神形體共ニ損耗シテ其功ヲ見サルニ至ル而シテ之ニ加フルニ一層恐ル可キノ弊害ヲ來スヘシ何トナレハ重税苛歛ノ下ニ困ム人民ハ詐譎奸謀苟モ免課脱税ヲ企圖シ良民モ亦免レテ耻ナキニ至ル豈恐ルヘキニアラスヤ譬ヘハ政府海關稅ヲ重クスルハ詐譎

隱密ノ法ヲ以テ稅ヲ賦シ竊ニ貨物ヲ偷入スルニ至ル人民ノ政府ニ向
 ヒ詐譎ヲ試ミントスルハ一國ノ爲メ決シテ賀スヘキコトニアラス是レ
 卽一國國民ノ德義心ヲ害シタル者ト謂フ可ケレハナリ詐譎術數重課
 苛歛ヲ免レントスルハ尙且可ナリトスルモ終リニハ工業人職人及ヒ
 一國富強ノ基本ト爲スベキ人民ハ内地ヲ去テ遠ク海外ニ移轉セシム
 ルニ至ルヘシ譬フレハ甲國ニ於テ一個ノ職人ハ租稅生計ノ料ニ八十
 六時間ノ勞動ヲ要スルモノト假定スルコト乙國ハ輕租薄稅ニシテ十四
 時間ヲ以テ足レトモソカ甲國民ハ悉ク乙國ニ移住ノ念慮ヲ生シ商賈
 モ亦隨テ移轉シ思ハス一國ノ衰頽ヲ來スヘシ然ラハ立法官タル者ハ
 左ノ數言ヲ記憶セラレソコト望ム

租稅ハ國民ノ膏血ニシテ其徵集スルヤ多少人民ニハ害タリ惡タル
 ベシト而シテ之ヲ善ト爲シ惡ト爲スハ政府使用ノ如何ニ在リ故ニ

政府若シ無用ノ事業ニ租稅ヲ消費スルハ第一ニ經濟上ノ損失ト
 爲リ第二ハ其租稅ヲシテ不義不正ノ者ト爲スニ至ルナリ
 故ニ政府租稅ヲ徵シテ費用シタル事業ノ若シ納稅者モ爲シ能フ所ノ
 事業ナラハ其租稅ハ未ダ正シキ者ト云フヘカラス各人資金ヲ使用ス
 ルハ固ヨリ隨意ニシテ政府又ハ他人ノ干涉ヲ嫉ツヘキ者コアラス然
 ルニ政府カ人民モ能ク爲シ能フヘキ事業ヲ爲サンカ爲メ人民ノ財ヲ
 徵集スルハ政府何等ノ故アリテ彼ニ奪ヒ此ニ與フルヤ然リト雖モ政
 府少數ノ資金ヲ捐テ最大ノ幸福ヲ得ルノ業ニ使用セハ租稅最モ善ナ
 リト云フ可シ故ニ政府ノ使用法ニ於テ租稅ハ善トモナリ惡トモナル
 ベキナリ國民各個ノ起スヘカラス事業ヲ爲スハ最少ノ資金ヲ棄テ
 最大共樂ノ利益ヲ得ル業ニ使用セサル業ニ使用セル租稅ハ正當ノ者
 ト云フヘシ假令其使用法各人ノ使用スル法ヨリ利且益アル時ト雖モ

立法官ハ最モ注意スヘキ場合アリ曰ク何レノ場合ナリヤ租税ノ重加シタル片是ナリ租税ノ輕キ時ニ於テハ假令臨時ニ重加スルモ其弊害少シト雖モ既ニ重厚ナル時ニ於テハヨシヤ事業ニ利益アルト雖モ立法官タル者ハ細カニ注意シテ漫ニ重厚ナル租税ヲ増課スヘカラス而シテ政府カ非常ノ租税ヲ課シ事業ヲ興スニ付テハ假令利益アリ有用ノ事タリトモ又弊害ノ依テ來ル處ヲ慮ラサルヘカラス政府カ多額ノ租税ヲ徵集シテ之ヲ種々ノ事業ニ消費スルハ流通財本ヲ束子テ因若財本ヲ増加スルナリ縱令其事業タル一國ノ開明進歩ヲ計ルヘキ善莫ノ事業即チ開港電信鐵道等ノ如キト雖モ此ノ費用ノ爲メ一國ノ資本ヲ集収シ既存ノ工業製造ヲ中止セシメ必起ノ事業ヲ阻碍スルコトアルヘカラス是假令政府ノ鐵道ヲ布設スルハ美事ナルモ此費用ニ供スル租税ハ即チ固若財本トナリテ流通財本ヲ減殺スヘケレハ多少流通

ノ阻碍ヲ生スベシ固若財本ハ増加ハ一國ノ經濟上決シテ策ノ得タル者ニハアラサルナリ

國民ハ如何ナル分部ヲ負擔シ政府ハ何ヲ標準トシテ賦課スヘキカヲ論ス

主章租税ハ一國人民ノ分擔スヘキモノタルヲ論シタリ是國民ノ分擔スヘキ部分及ヒ其標準ト爲スヘキモノタルヲ論シ及ホサントス理論上ヨリ言フ所ハ國民ハ政府ノ爲シタル仕事ノ利益ニ比適シタル部分ヲ拂フ可キナリ假令ハ郵便税ノ如ク目方ノ多少ニヨリ税金ニ多少アルカ如ク政府ノ國民ニ向テ爲シタル仕事ノ多少ニヨリ税金ニモ亦多少アルヘキナリサレハ都府ニアリテノ地方税ノ如ク府民ノ市街掃除税ヲ拂フハ其掃除ノ仕事ノ利益ニ適シタル税金ヲ拂フモノナレハ若掃除ヲ府吏ニ委テスシテ各自ニ掃除ヲ爲シタラソニハ税ヲ拂ハ

サルモ不可ナキナリ此ノ如ク政府ハ各種各別ニ課税ヲ爲サハ賦課法
ハ公平ナルベト雖モ各種各別ノ課税ハ収税吏チ多人数ニテ反テ
煩ニ堪ヘサルノ弊アルノミナラス費額隨テ増加シ到底仕事ノ利益ニ
適當スヘキ税金各種各別ニ賦課スルコトハ行フヘカラサルノ難事ナリ
トス仮令ハ邦家ノ安寧ヲ保持スル爲ノ軍兵ノ如キハ如何ナル方法ヲ
以テ國民各自ノ享受スヘキ利益ヲ定ムルヤ決シテ能ハサルナリ若シ
土地チ有スルノ廣狹ニヨリテ享利ノ多少アリトスルカ田地二反チ有
スルモノハ一反チ有スル者ノ倍税ヲ拂ハサルベカラス果シテ其田地
ノ所有者ニ對シ享利ノ多少判然厚薄多少アリヤチ認ル能ハサルナリ
又裁判所費用ノ如キ訴訟ノ大小難易ニ因テ享利ノ多少ヲ定メシヤ大
ナル事件ト雖モ容易ニ局ヲ結ヒ裁判所ニ費額少ク却テ小事件ト雖モ
艱難ニシテ局ヲ結ヒ難ク裁判所ニ費用ヲ要スル頗ル多額ナル者アリ

又裁判所ハ訴訟ヲ未萌ニ防クノ利アレハ訴訟セサル者モ多少利ヲ受
クヘシ又軍兵ト雖モ撥亂排逆ノ戰時ニノミ利ヲ享ルニアラス平時猶
亂チ未發ニ豫備スベシ各自各個ニ付享利ヨリシテ定ムルコトハ頗ル難
キコトタルヘシ決シ爲シ能ハサルノ事ナリ仮令享受ノ利益ヲ推測スル
チ得ヘキ事柄ニ於テモ其計算ヲ爲スハ極メテ混雜ニシテ實際ニ行フ
ヘカラス喻ハ道路通行税ヲ拂ハシムルニ如何ナル方法ヲ以テ徴収ス
ヘキヤ若シ通行ノ度數ニヨリテ収メントスルカ近傍ノ者ハ通行スル
コト屢ナレハ多數ノ税ヲ拂ハシムルニ至ルヘシ又有税道路チ遊歩道迄
スル者ニモ其度數ニ應シテ拂ハシムルトセンカ決シテ能ハサルベシ
強テチ行ハントスルカ其極終ニ通行ノ便チ欠キ非常ノ不都合チ生
スヘシ又政府カ國債及ヒ其利金ヲ拂フキニ當テ若政府ノ此國債チ無
用ノ費ニ充テ國民ノ利益ナラサルキハ前ノ説ニ據レハ負擔セサルモ

妨ケナキカ如シ豈此ノ如キ理アラフヤ國民ハ用ハ利不利ヲ問ハス國費トシテ負擔セサルヘカラス英國ニ於テハ各種各別ニ稅ヲ課スルノ國風ナレモ其仕事ノ利ヲ享ルヤヲ知ルニ由ナキ海軍陸軍費等ノ如キハ一般畫一ニ享利ノ多少ヲ問ハス賦課スルナリ

大凡何レノ國何レノ代ニテモ下ニ説ク所ヲ承諾スモノ、如シ即チ各國民ハ政府ノ仕事ヲ仕拂ヒ政府ノ不仕事ヲ負擔スヘシ(利ヲ享クルト否トニ關セサルヲ云フ)其負擔スヘキ比例ヲ取ルハ各國民所有財產ノ収益高ニヨルヘシ故ニ曰ク租稅ハ利ヲ享マノ多少ニ關セス財產ノ多少ニ比例シテ徵集スヘシ

又人アリ曰租稅ヲ徵収スルハ單稅ニ如カス喻ヘハ収益高十分ノ一ノ稅ヲ拂ハシムル者トスルカ二百圓ノ収益金アルモノニハ即チ二十圓

ヲ拂ハシメ其他ハ賦課スヘカラスト予ニシテ之ヲ見レハ其徵収方ノ單稅ト復稅トハ到底異同アル事ニアラス各自ノ資産ニ比準シテ徵収スレハナリ

前ニモ陳シ如ク租稅ヲ財產ノ多數ニヨリテ比例シ徵収スヘシト然スルキハ富者ハ保護ヲ受クルヲ貧者ヨリモ多シ故ニ多クノ稅ヲ拂ハシムヘシ貧者ハ富者ノ享クヘキ如キ保護ヲ受ケスト故ニ拂フ稅モ少シト此說ハ正當確實ノ說トモ云ヒ難シト雖モ亦一理ノ取ル可キナキニ非ス仮令ハ道路稅ヲ拂フニ富者ハ貧者ヨリ多數ヲ拂フノ理由ハ富者ハ貧者ヨリ道路ヲ使用スルヲ多キカ故ナリ又軍費ニ於テモ外敵襲ヒ來リ内地ヲ侵掠スルニ當リテハ土地ヲ有スル多分ナレハ失フヲ又多シ故ニ軍費ヲ拂フモ貧者ヨリ多カラサルヲ得ス

又前ニ國民タル各自ハ政府ノ無用ニ出費セシ不仕事ノ賦課ヲモ負擔

セサルヘカラストハ立憲政体ノ國ニシテ國會ニテ政府ノ出費ヲ議定スルノ國ニ就テ論シタル所ナリ專政政体ニテハ然ラス如何トナレハ其不仕事タル民ノ意ニアラサル所ナレハ負擔セサルモ敢テ妨ケナカ
ルベシ之ニ反シテ立憲政体ニシテハ政府ニ假令不仕事アラシムルモ國會ニ於テ人民ハ代理人タル議員ノ議定スル所ナレハ其不仕事ノ責ハ議員ニアリ議員ノ責ハ人民ニアレハ自分ハ失テ自分カ償フニ其理同シケレハナリ

大概諸邦トモ富者ハ貧者ヨリ勢力ヲ有シ多クハ國會ノ代議士モ富者ヨリ撰ハル者ナレハ政府ノ不仕事ヲ議決シタルハ富者ニ返シ其結果ニ於テ富者ノ負擔スヘキ租税ニ返スレハ又道理ナシトスヘカラスト前陳ノ説ヲ其適實ヲ得タルカ如シト雖モ又或人ハ他ノ説ヲ提出シテ前説ヲ非難スルモノアリ其駁説ニ曰ク租税ヲ徵スルハ其資財ニ比例

スルハ不可ナリ遞加法ヲ可ナリトス(有名ノ經濟學士、シアンペアチスト)及ヒ「ガルニエ」氏等皆此説ヲ爲ス(又其説ニ資産ニ比例シタルモノヲ拂ハシムル代リニ富貧トモニ同様ノ痛苦ヲ受クヘシ(租税ヲ云)即チ千圓ノ利益金アリテ十圓ノ税金ヲ拂フハ二千圓ノ利益アルモノハ三十圓ヲ拂ハシムヘシ(若シ比例ヲ以テ云フハ千圓ノモノ十圓ナレハ二千圓ノモノハ二十圓ナルベシ如何トナレハ百分ノ一ノ比例ナレハナリ)此ノ如ク遞加法ニテ徵スルハ租税ノ痛苦ハ富貧者トモニ同シキヲナリ假令ハ百圓ノ利益アル者ニ十圓ノ税ヲ拂ハシメ二百圓ノ利益アルモノハ其比例ニテ二十圓ヲ拂フハ十圓拂フモノ、痛苦ト二十圓拂フモノ、痛苦ハ同シカラスト故ニ百圓ノ利益アルモノ十圓拂ヘハ二百圓ノモノハ三十圓ト遞加法ニコレハ租税ノ痛苦ヲ受クル均シカレ可シ此ノ説タルヤ予ハ信認セス如何トナレハ推測ヲ以テ租税ノ

痛苦ノ多少ヲ知り又甲乙ノ痛苦即チ負擔スヘキ分部ヲ定ムルヤ實際
 上決シテ爲シ得ヘカテサルナリ然レ共政府タルモノハ大民ノ平等ヲ
 保持セシムルノ任アルモノナレハ可ナリト雖モ政府ナルモノハ國民
 ノ安寧ヲ保持シ進歩ヲ計畫スヘキノ任アル而已固ヨリ租稅ヲ徵スル
 ハ平等ヲ要スルハ當ニ然ルヘシト雖モ痛苦ノ如何ヲ測リ知ルコト能ハ
 サルナリ故ニ國民タルモノハ政府ノ爲シタル仕事ニ比例シタル稅金
 ヲ拂ヒ又其ノ資産ノ多少ニ比スヘシ若或ル人ノ說ク如ク苦痛ノ點ヨ
 リシテ稅法ヲ建ルルハ恰モ商人ノ富者ニ向テハ貨物十圓ニ賣ルモ貧
 者ニ向テハ五圓ニ賣ルカ如ク富貧ニヨリテ其價ヲ異ニスルカ如キ不
 都合モ亦甚タシト云フヘシ
 遞加法ヲ主張スルモノ、言ニ曰ク政府ノ爲ス仕事ハ貧者ノ爲メヨリ
 モ富者ノ爲メニ多シ故ニ富貧トモニ同様ノ痛苦ヲ受ケシムルコソ正

當ナリ佛國ニ於テ政府ノ保護金ヲ以テ設立シタル演劇場アリ富者ハ
 至當ノ席料ヲ拂ヒ常ニ觀劇スルヲ得ルモ貧者ハ席料ダモ拂フノ力ナ
 キカ故觀劇スルヲ得ス故ニ劇場ニ費ス保護金ハ富者而已ニ費スモノ
 、如キ故ニ多ク拂ハシムヘシト此レ理ヲ解セサルノ言ノミ能ク理ノ
 アル處ヲ審討セハ政府ノ費スコトハ富者ノ爲メヨクモ却テ貧者ノ爲ニ
 多シ仮令ハ警察裁判所等ノ費ハ重ニ貧者ノ爲ニナスモノ、如キ如何
 トナレハ富者ハ其身ヲ守ル謹直他ト喧嘩スルコトナク又相當ノ教育ヲ
 受ケタルカ故ニ訴ヘテ好ムコトナシ之ニ反シテ貧者ハ身ヲ放埒ニ持テ
 又教育モ受クルコトナク故ニ訴ヘテ好ミ他ト鬭爭ヲ爲シ常ニ警察裁判
 ノ手ヲ勞スルコト富者ヨリモ多シ又邦ノ騷動ヲ醸シ革命ヲ企ツモノハ
 貧民チ多シトス此レ歴史上誣ユヘカラサルモノナリ之ニ由テ之ヲ觀
 レハ政府ノ費用ハ貧民ノ爲ナリ云モ不可ナルコトナシ

遞加税法ハ到底經濟ノ眞理ニ反スルモノナリ其理由ハ遞加法ハ不正
 ニシテ其弊アル下ノ如キ結果ヲ生スルヲアルカ故ナリ其第一ノ結果
 ハ遞加法ニスルモ人民ノ収高ヲ隱匿スルノ弊アリ又第二ニハ邦國ノ
 進歩ヲ障碍ス如何トナレハ収益ノ大部ハ皆政府ノ手裡ニ歸シ民間ノ
 資本ヲ消滅スルナリ此ノ二ツノ弊害アリト雖モ並生セス何レカーツ
 ノ弊アルモノトス故ニ仮令遞加ハ僅少ナル五百圓ノ収益金アリテ之
 ニ課スル五フランヲ以テスルトキハ収益高倍スレハ税金ハ三倍トナ
 ルヘシ則チ収益金千圓ナレハ税額ハ十五圓トナルナリ又二千圓ノ収
 益アルモノハ四十五圓ノ税金ナリ此ノ如クシテ遞加スルキハ収益金
 ヨリ税金ノ多クナル理合ナリ故ニ収益ノ高ヲ誣告シ其實ヲ告ケス又
 此方ニヨレハ勉勵苦刻其ノ業ヲ勤メ餘資ヲ得ルモノハ慚怠不肖ヨリ
 多クノ痛苦ヲ受ク可キ都合トナルナリ此ノ如クナレハ人々皆勞働ヲ

怠ルヘシ勞働少ナケレハ物産減少ス到底一國ノ不利ナリ又餘リニ勞
 働者ヲ困頓セシムルキハ自邦ヲ去テ他邦ニ移ルヘシ阿爾太伊留蘭土
 如キ住民ノ移轉スルニ至ルヘシ遞加法ヲ主張スルモノ、言ニ遞加ス
 ルモ百分ノ二十五ヨリ騰サイルヘシト若シ此ノ説ニヨレハ遞加ノ効
 見ルキモノナク論規ニ適ハサル言ト云フヘシ如何トナレハ多クノ資
 産ヲ有スルモノ甚タ少ナキカ故ナリ李魯伊斯ニ於テ年ニ三千七百五
 十フランノ以上ニ達スル収益金ヲ生スル資産アルモノハ甚タ稀ナリ
 僅々四万四千人程ナリキ又五万五千フランノ収益金ヲ得ルモノハ四
 百四十七人程ナリ
 又非常ニ少額ノ収益金ヲ得ルモノハ直税ヲ免カル、ノ法アリ其理由
 ハ生計安全ヲ保ツヲ能ハサルカ故ナリ又小額ノ収益金ヲ得ルモノハ
 直税ヲ免カル、モ間税ハ却テ富者ヨリ重ク負擔スルカ故ナリ又収益

少額ニシテ漸ク其日チ營ムニ汲々スルモノチシテ直税ヲ拂ハシムルハ甚ダ困難ニシテ其得ル處其失フ處ヲ償フ能ハサルニ至ル可シ英國ニ於テハ二千五百フラン以下ノモノハ直税ヲ拂ハス之ニ反シ佛國ニ在テハ直税ヲ免カレシムルノ法アラス

租税ノ負擔者ヲ論ス

凡ソ税金徵集ノ方法如何ナル比例ヲ以テセンカノ問題ハ賦課ノ事ニ係ルヲ以テ今爰ニ論セス(譬ハ酒税ヲ取ラントスルニ或ハ米ニ課税セシカ又ハ酒ニノミ課税センカノ論ノ如)今將ニ論及セントスルノ問題ハ問税ニ付テ納税者ハ終始其義務ヲ負擔スヘキヤ將又納税者ニ非スシテ有税品ヲ購求スルモノ、負擔スヘキヤノ問題ナリ譬ハ政府ハ甲某ナルモノニ十萬圓ノ租税ヲ拂ハシムル其ノ税金ハ終始納税者ノ負擔スヘキモノナルヤ若シ納税者ノ始終負擔スル者ニ非ストセハ其

ノ負擔者ハ誰ナルヤ譬ハ造酒者製造者ハ若干ノ税金ヲ拂フトスル其造酒者製造者ハ終始其税ヲ負擔スルヤ否ヤ決シテ之ヲ負擔セサルベシ如何トナレハ造酒者ハ酒價製造者其製品ノ價ヲ騰貴セシムレハナリ第一流ノ經濟學士、フランクリン氏曰ク商估ハ租税ヲ賣品ニ附着スト譬ヘハ造酒者一石ニ付廿錢ノ租税ヲ納ムル時之ヲ拂フ者ハ造酒者ナリト雖モ造酒者ハ此ノ廿錢ノ内幾分カタ除クノ外終始負擔スル者ニ非サルナリ然ラハ即チ終始負擔ス可キモノハ儘ナルヤ蓋シ租税アルカ爲メ多少ノ損失ヲ受クルハ納税者ニアラスシテ消費者即チ酒ヲ購フモノナリ故ニ造酒者製造者ハ恰モ一時購求スル者ニ代リテ代納スルモノニシテ決シテ損失ヲ受ケサルナリ若シ納税者即チ造酒者ハ税額ノ全額丈ケ酒價ヲ騰貴セスシテ廿錢ノ税金中十五錢ノミ酒價ニ附着シテ賣ルルハ購求者ハ租税ノ大部ヲ負擔シ造酒者ハ其ノ少部即

十十五錢ノミナ負擔スルナリ又他ノ例ヲ以テ之ヲ証セハ茲ニ地租ヲ
 納ムル者アリ年一反ニ付三圓ヲ拂フトスルハ米價ノ自カラ騰貴ス
 ルハ理ノ然ルヘキモノナリ然ルハ終始租稅ヲ負擔スル者ハ納稅者
 其ノ人ニ非スシテ消費者タルヤ昭々タリ消費者ハ其ノ全額ヲ負擔ス
 ヘキヤ將タ半額ヲ負擔スヘキヤハ是レ他ノ問題ナレハ今茲ニ之ヲ論
 セサルヘシ或ル記者ノ説ニ因レハ租稅アルカ爲メ常ニ損失ヲ負擔ス
 ヘキモノハ消費者ナリ納稅者ハ決シテ其ノ損失ヲ受ケサルナリト如
 何ナル方法ニテモ製造品又ハ耕地等ニ租稅ヲ賦課スルハ夫レカ爲
 メ損失ヲ受ケルモノハ消費者ナリ故ニ今一ノ製造品ヲ購求セントス
 ルハ第一製造ノ入費ヲ拂ヒ第二ニハ製造者ノ得ル利益ヲ拂ヒ第三
 ニ税金ヲ拂ハサルヲ得ス此ノ説ヲ信ナラシメハ賦課法ノ問題ニ
 付テ利害ノ係ル所アラサルナリ如何トナレハ消費者ハ常ニ負擔ス

ルカ故ニ酒ニ賦課スルモ米ニ賦課スルモ同一理ナレハナリ譬ハ釀酒
 ノ元素ナル米或ハ米ヲ生スル土地ニ課スルノ類ナリ然ラハ則チ釀酒
 スル時ニ際シ稅ヲ拂ハシムルカ又ハ其ノ酒ヲ賣ル時々ニ課稅スルカ
 ノ問題ハ無用タルヘシ(釀酒スルノ際租稅ヲ課シタル米ヲ購求スルヲ
 以テ稅ヲ間接ニ拂フナリ又酒ヲ賣ル時稅ヲ拂フトハ一石ニ付キ何圓
 ノ稅ナル故ナリ)故ニ此ノ問題ハ論セサルヘシ前記者ノ説ニ因レハ租
 稅ハ消費者ノ負擔スヘキモノニシテ納稅者ハ厘毛モ負擔セサルナリ
 ト此ノ説論理上ニ於テハ多少取ル所無キニ非スト雖モ實際上ニ於テ
 ハ決シテ然ラス故ニ租稅ハ常ニ消費者ノ負擔スヘキモノト云ハ謬説
 ナリ譬ヘハ酒一石ニ付キ税金二十錢ヲ賦課スルハ賣酒者ハ其税金丈
 ケ酒價ヲ騰貴セシメテ賣ル時ハ消費者ハ従前ヨリ幾分カ減スルナリ
 若シ造酒者ニ於テ從來ノ消費者ヲ得ント欲スレハ利益ノ幾分ヲ減シ

テ酒價ヲ低下シ以テ賣ヲサレテ得ス故ニ曰ク酒ニ租稅ヲ課スルハ酒價騰貴ス酒價騰貴スルハ消費者減ス消費者減スルハ造酒者は是迄得ヘキ利益ノ幾分カヲ租稅ノ爲メニ失フモノナリ之ニ由テ之ヲ觀レハ大凡租稅ヲ納ムルモノハ其ノ課稅ヨリ生スル結果ヲ負擔セサルヘカラス其ノ結果トハ前ヨリ酒價ヲ低下セサルヲ得ス如何トナレハ前ヨリ消費者減スレハナリ今其ノ證ヲ舉ケンニ政府若シ課稅ノ草案ヲ突然議院ニ提出スルハ其ノ租稅間接ニ消費者ノ負擔スル者ナルモ議員ハ容易ク其議ヲ許容セサルベシ然レモ若シ立法官ニ於テ方法ヲ一轉シ各種ノ物品ニ均シク課稅スルハ終ニハ租稅ハ消費者ノ負擔スル所トナルヘシ譬ヘハ内地ノ生絲ニ課稅シテ海關稅ヲ取ラサルキハ外品内地ニ輸入シテ内地ノ生絲ハ之ト競賣スルヲ能ハス人皆ナ外品ヲ購求ス故ニ消費者ハ租稅ヲ負擔セサルナリ若シ之ニ反シテ内

地ノ生絲ニ課稅スルト同時ニ海關稅ヲモ取ルハ内外品共有稅品ナレハ消費者ハ何レノ品ヲ購求スルモ租稅ヲ負擔セサルヲ得ス故ニ立法官タル者ハ稅ヲ課シ又減スルニ過度ニ外人ヲ保護セサルヲ要ス前ニ言タル如ク租稅ヲ課スルニ彼我ノ別ナク同一ナルハ消費者ハ常ニ租稅ヲ負擔スヘキハ既ニ論シタリ今茲ニ一ノ注意スヘキ事アリ譬ヘハ租稅ハ均一ニシテ彼我ノ別ナシト雖モ賣品ニ課スルト賣品ヲ製スル原品ニ課スルニ於テ大ナル差異アルヲ知ル是レナリ酒類ニ課セスシテ直チニ酒ノ元素即チ米ニ課稅スルハ造酒者ハ租稅ヲ拂ハシ爲メ造酒ノ石高ヲ減セサルヲ得ス若シ意外ノ事變ニ際スルハ酒類ノ捌方ニ影響ヲ及シソレカ爲メ久ク酒ヲ藏シ賣ルヲ能ハサルヲアリ斯ル場合ニ際會スルハ造酒者ハ多少ノ金利ヲ失フモノナリ如何トナレハ若シ米ニ課稅ナキ時ハ其稅金ヲ他ニ流用シ相應ノ利準ヲ

得レハナリ故ニ米ニ課税スルト酒ニ課税スルトハ大ニ異ナル所アリ
之ヲ約言スレハ米ニ課スルモハ造酒者ハ豫メ税金ヲ拂ハサルヲ得ス
豫メ拂フモハ多少ノ税金ヲ失フニ云フナリ

間税ト直税トノ別ヲ論ス

直税トハ如何ナルモノナルヤ蓋シ行政上ハ經濟上トハ其義解ヲ異ニ
ス行政上ノ義解ハ則チ人別帳ニ準據シテ收納スルモノヲ直税ト云収
税官吏ハ豫メ各都府民ノ名簿表ヲ作り甲某ハ何圓乙某ハ何圓ト豫メ
示定シタルモノヲ云斯ノ如ク収税スルノ額ヲ定ムルニハ各人ノ収税
高或ハ取揚高若クハ純益ヲ以テ算定ス又土地ノ肥瘠繁寂等ヲ審査シ
而後之カ租税ヲ定ムルナリ簡單ニ之ヲ云ハ直税ハ其ノ人々ニ因リ
或ハ其ノ財産ニ因リテ賦課シ各民ノ純益ノ幾分カヲ収納セシムルモ
ノナリ今二箇ノ例ヲ示サソ地稅ハ直税ナレハ収税官吏ハ豫メ名簿表

ヲ作り其各人ノ名下ニ収納スヘキ税額ヲ記入ス故ニ其ノ租税タル各
人収益ノ多少ニ應シテ賦課スヘキモノナリ
又其ノ第二例ニ營業稅ハ即チ直税ニシテ商業ヲ營ナマン爲メ拂フヘ
キ税ナリ故ニ各商估ハ其ノ業ノ種類ニ因テ収税官吏ハ豫メ其ノ額ヲ
定ム各名簿表ヲ作り某ノ商業ハ何圓何ノ商業ハ何圓ト定ムルナリ

間税ヲ論ス

行政上ニ於テ間税トハ或ル行爲ノ執行又ハ或ル消費物ニ法律ニ於テ
定メタル租税ヲ拂ハシムルヲ云フ例ハ酒稅ノ如ク酒何石ニ付何圓
ノ高ヲ納メシムル故ニ収税官吏ハ時々釀造ノ石高ヲ點檢シテ詐偽ナ
キヲ除ク故ニ豫メ名簿表ヲ作ラス石高ニ應シテ収税ス直税ノ營業稅
ト混セサルヲ要ス營業稅ハ商業ヲ營ム爲メ拂フヘキ税ナル故豫メ商
業ノ種類ヲ差別シ表ヲ作り置クナリ海關稅ノ如キモ亦間税ノ一ニシ

テ外品ヲ内地ニ輸入スル爲メ拂フモノニシテ輸入スル者ノ資産ノ有
無ニ關セズ又豫シメ稅表ヲ作ラサルナリ
行政上ノ直稅間稅ノ別又其ノ義解ハ如斯簡單ナリ經濟上ノ直間稅ハ
果シテ差別アルヤ否ヤ同フニ論理上ニ於テハ大差ナキカ如シト雖
モ實際上ニ於テハ小差無キヲ得ス經濟上ニ於テノ直間稅ノ義解ハ直
稅ハ立法官ハ直接ニ現在ノ納稅者ノ財産又ハ其ノ純益ニ課スヘキモ
ノチ云故ニ立法官ハ租稅ヲ賦課スルニハ現ニ納ム可キモノハ純益金
ヲ減セシムルナリ立法官タルモノハ租稅ヲ賦課スルノ前租稅ノ額ト
拂フヘキ者ノ資産ノ多少トノ比例ヲ最モ精且ツ密ニ吟味セサルヘカ
ラス若シ誤テ其ノ比例ヲ失スルキハ其結果ハ國內ノ商業ノ衰頽ニ陷
ラシムルナリ直稅ニ在テハ立法官ハ國民ニ向テ其ノ純益ノ幾分ヲ納
メシムル故純益金ハ租稅丈ク減スヘシ其減スルノ極遂ニ其ノ業ヲ廢

スルニ至ル故ニ純益ノ多少ニ因テ租稅ノ額ヲモ増減セサルヲ得ス之
ニ反シテ間稅ニ在テハ立法官ハ現在ノ納稅者ニ負擔セシムルヲ能ハ
ス又負擔セシムルヲ欲セサルナリ故ニ立法官ハ間稅ヲ課スルニ現ニ
拂フヘキモノ、資産ノ有無ニ顧慮セス如何トナレハ現ニ拂フモノハ
一時ノ代納者ニシテ終始負擔スヘキモノニアラサレハナリ蓋シ間稅
ハ總テ消費物トニ課スル稅ナリ而シテ其消費スル所ノ者ハ誰ソ其
中ニハ必ス富裕ノ者モアラソ又貧困ノ者モアラソ夫レ等資産ノ有無
ハ知ルニ由ナシト雖モ先ツ富裕ノ者ハ貧困ノ者ヨリ常ニ多ク貨物ヲ
消費スル故ニ富者ハ貧者ヨリ多分ノ稅ヲ拂ハサルヲ得サルハ推理上
當然ナル者ナリ是レ立法官ノ間稅ヲ課スルノ標準ナリ右ノ如ク經濟
上ノ義解ト行政上ノ義解ト其實多少ノ差異アルカ如キモ詳カニ實際
上ニ付テ見ル時ハ屢其ノ差異ナキヲ見ルヲアリ即チ行政上ニテ間稅

ハ經濟上ニ於テモ亦間税ナルコトアリ今其ノ差異アルヲ示サソ
 佛國ニ於テハ相續ノ行爲ニ付テ租税アリ直税ナルヤ將タ間税ナルヤ
 行政上ニ於テハ元ヨリ間税ナリ如何トナレハ豫メ名簿表ヲ作ラズ其
 相續ノアル毎ニ相續人ニ拂ワシムルモノナレハナリ經濟上ニ於テ是
 レ等ノ種類ノ税ハ全ク直税ナリ如何ナレハ其ノ税タル現ニ納ムルモ
 ノ、負擔スヘキモノニシテ一時ノ代納者ニアラス相續人ハ終始負擔
 スヘキモノニシテ則チ其者ノ損失ナリ營業ニ於テモ亦然リ行政上ニ
 於テハ直税ナリ經濟上ニテハ如何同一ナルヤ決シテ然ラス如何トナ
 レハ現ニ拂フヘキモノハ營業者ナレハ此ノ税アルカ爲多少物貨ヲ騰
 貴セシムル故ニ終始負擔スヘキ者ハ消費者ナリ故ニ經濟上ニテハ間
 税ナリトス之ヲ第一租税ノ別トス

第二租税ノ別

第一前以テ税額ヲ定メ賦課スヘキ租税第二不定ノ租税即チ物貨ニ賦
 課スヘキ租税ニシテ其有無ニ係ル第一ノ者ハ立法官豫メ租税ノ金額
 ヲ定メ警ハ立法院ニテ租税チ一千万圓トスレハ何ハ何万圓何ハ何万
 圓ト各縣其土地ノ廣狹資産ノ富否ニ因テ賦課ス而シテ中央政府ハ各
 縣ニ之ヲ割賦ス地方官ハ又之ヲ縣内ニ割賦ス警ハ某郡ハ何圓其區ハ
 何圓トス而シテ又其ノ郡其區ハ之ヲ人民ニ資産ノ多少ニ因テ割賦ス
 之レ即チ割賦税ナリ

第二ハ豫メ表ヲ作り某ノ物貨ハ何圓某ノ物品ハ何圓ト定ムル者ヲ云
 フ此ノ税ハ税表ニ據テ収納スルカ故完全ノ法ナルトキハ人民ハ其ノ表
 ニ據テ各自ノ納ム可キ税額ヲ詳知スルヲ得ルナリ併シ政府ハ此ノ種
 ノ税額ヲ豫メ算スルコトヲ得ス如何トナレハ有税品ノ多少ニ係レハ
 ナリ警ハ車馬獵犬畜犬税ノ如ク昨年ハ千頭獵犬アルモ今年ハ八百頭

トナルコアレハナリ故ニ第一種ノ税ハ其ノ有税品ハ多少ニ關係セス又其ノ額ハ不變ノモノナリ但シ納税ハ豫メ其ノ額ヲ知ルコトヲ得ス如何トナレハ其ノ税表無レハナリ第二種ノ説ハ之ニ反シ税表ニ因テ各自拂フ可キ額ヲ知ルヘシ但其ノ全額ヲ豫知スルコト能ハス

單稅複稅ヲ論ス

租稅賦課ノ法ハ純益ニ比例シテ徵収スルヲ好トス而シテ其ノ純益ニ對スルノ比例ヲ失ハサラン爲メ其ノ之ヲ賦課スルニ單稅ト複稅ト何レカ最モ便且ツ善ナルヤヲ考察スヘシ蓋シ割賦稅ハ人民各自ノ資産ニ比例スヘキコト世人ノ是認スル所ナリ此ノ問題ニ向テハ詳細ニ論セサレハ其ノ大略ヲ陳シテ以テ之カ是非ヲ示サン或ル人ノ説ニ因レハ複稅ノ方ヲ取ランヨリ寧ロ單稅ノ便且ツ益アルヲ取ルニ如カサルナリト此ノ説ニ因レハ二箇ノ分類ヲ爲スヘシ第一収益上ニ賦課スル

ナリ蓋シ如斯スルモノハ物トシテ稅アラサルハナク人トシテ収益金ノアラサルナシ故ニ彼ニ厚クシテ此ニ薄キカ如キ弊アラスト雖モ此ノ収益ノ多少ヲ知ルハ甚タ容易ナラサルコトナク到底正確ナル計算ヲ知ルコト難シ然リト雖モ第一ノ利益ハ現ニ稅セシムルコトヲ免カル、ヲ得ヘシ故ニ租稅ヲ収益金十分ノ一トスルモノハ収益百圓アリテ租稅ハ十圓ナリ又或ハ人ノ論ニ因レハ租稅ハ収益金ノ上ニ賦課スルヨリ寧ロ土地ニ賦課スルヲ好トス其説ニ曰ク凡ソ物ハ皆ナ地ヨリ生ス如何ナル物ト雖モ其ノ生スル源ハ土地ニアリ故ニ租稅ヲ土地ニ賦課スルモノハ其ノ土地ヨリ物ヲ購求スルモノ皆ナ之ヲ拂フヘシ重ク課稅スレハ物貨從テ騰貴ス物貨騰貴スレハ則チ其騰貴スル丈ケハ消費者ノ損失ナリ故ニ土地ニ課稅スルハ人々皆ナ租稅ヲ負擔スル故不公不正ナキナリ此ノ説タルヤ固ヨリ取ルニ足ラヌ如何トナレハ消費者ノミ負擔

シ納稅者ハ時トシテ負擔セサルコトモアルヘキカ故ナリ
 第三ノ說ニ因ヨリ租稅ノ公平ヲ得シコトハ資本ノ上ニ課スルノ優レル
 ニ如カス如何トナレハ其ノ稅ハ即チ各人ノ所有スル資産ニ比例アレ
 ハナリ人トシテ多少ノ資産アラサルモノナシ其資産ノ多少ニ應シ課
 稅セハ苟モ免カル、モノナシト此ノ說タル善ハ則チ善ナリト雖モ聊
 カ弊無キ能ハス其ノ弊トハ何ツヤ物貨運輸資本ノ流通ヲ妨害スル是
 ナリ如何トナレハ各人資産ノ多少ヲ知ラント欲セハ各戸ニ望テ點檢
 探索セサルヲ得ス其カ爲メ物貨ノ運搬資本ノ流通ヲ滯滞セシムルナリ
 第四ノ說ニ因レハ資本ト云ヒ流通固着ノ二ツナカラ課スルハ不可ナ
 リト雖モ單ニ固着即チ不動資本ニ限リ課スルハ益アルモ更ニ
 害ナキナリ(固着資本トハ製造所ノ器械家屋等ヲ云フ一度資本ヲ投ス
 レハ容易ニ他ニ轉シテ流用シ能ハサルヲ云フ)此ノ說タル不公不正ノ

說タルヲ免レス如何トナレハ流通資本ヲ有スル者ハ租稅ヲ免レ固着
 資本ヲ有スル者ノミ賦課セラレハナリ豈之ヲ不公不正ト云ハサル
 ヲ得ンヤ

前ノ諸說共多少取ル所ナキニ非スト雖モ各弊害ナシト云フヘカラス
 第一収益金ノミニ賦課スルノ說ハ輒近ニ至リテ維持スルノ人稀ナリ
 又第二ノ說即チ土地ノミニ賦課スルノ說ハ曾テ唱道スル人アルヲ聞
 カス第三資本ノミニ賦課スルノ說ハ「ミニエ」氏獨リ其說ヲ主張セリ然
 レモ之ヲ賛成スル人ハ絶テナシ單稅ノ說ハ斯ノ如シ之ニ反シテ複稅
 ヲ可トスルノ論者アリ其說ニ因レハ或ル定マリタルモノハ課稅スル
 一、ナクシテ物貨ハ内國品、外國品、タルニ關セズ總テハ消費物ニ課
 稅スルナリ夫レ斯ノ如ク如何ナル物ト雖モ差別ナク課稅スルハ人
 各々其ノ資産ノ多少ニ應シテ租稅ヲ負擔スルニ至ルヘシ富者ハ多分

土地ヲ有シ貨物ヲ消費スルカ故ニ多分ノ稅ヲ拂ハサルヲ得ス之ニ
 反シテ貧者ハ多分ノ土地ヲ有セス又消費スルモノモ少シ故ニ拂フ所
 ノ稅モ從テ多カラス稅ヲ課スル如此ナルハ資産ノ多少ニ因テ稅ヲ
 負擔スルカ故ニ彼ニ嚴ニシテ此ニ寬ナルノ不公不正アルヲナシ
 單複ノ二稅何カ便且ツ益アルヤト問フニ單稅ヲ主張スルモノ、說ニ
 曰ク單稅ハ収稅ノ爲メニ費ス所ノ費用少ナケレハ大ナル利益アリ之
 ニ反シテ若シ複稅ナルハ有稅品ノ種類ニヨリテ各々収稅吏ヲ要ス
 収稅吏多ケレハ多數ノ給料ヲ拂ハサルヲ得ス故ニ單稅ノ多數ノ収稅
 吏ヲ要セサルト入費ノ僅少ナルトノ便且益アルニ如カサルナリ是單
 稅ニ付キ第一ノ利益ナリ

第二ノ利益ハ單稅ナレハ納稅者ハ正確ニ各自ノ拂フヘキ額ヲ知ルヲ
 得ヘキ是ナリ之ニ反シテ複稅ナル時ハ各自拂フヘキ額ヲ知ラス假設

ハ有稅ノ物貨ヲ買ニ稅額ハ幾何ナルヤヲ知ルニ由ナシ拂フタルモ
 ノハ商フタル者ニシテ消費者ニアラサレハナリ各自ノ生計ノ爲メニ
 其ノ稅ノ幾何ナルヲ知ルト大ニ利益アレハ知ルニ由ナキノ課稅法ハ
 人民ノ爲メニ大ニ便ナラサルナリ

第三ノ利益ハ單稅ナルハ資本ノミ課スルヲ除クノ外収稅スルニ容
 易ナリ之ニ反シ複稅ナルハ有稅品ノ各種ヲ吟味スルニ甚ク困難ニシ
 テ商業物産ノ興隆ニ妨害ヲ生ス假設ヘハ酒類或ハ其他各種ノ物貨ニ
 課スルハ収稅ノ時々其ノ家ニ就テ詐偽アラサルカヲ點檢セサルヲ
 得ス點檢スルニハ多少ノ時間ヲ費サレト得ス點檢スルハ是レ官民
 共ニ此ノ不便アリ加フルニ又商業上ニ害ヲ與フルヲ決シテ僅少ノ
 ニアラス若シ單稅ナルハ無用ノ時間ヲ費サス農時ヲ奪ヒ商業ノ妨
 害ヲナスヲナシ

第四ノ利益ハ單稅ニシテ収益金ノミノ上ニ課稅スルキハ自分ノ終始負擔セサル租稅ヲ拂フニ及ハサルト是ナリ若シ各種ノ物品ニ課スルキハ終ニハ消費者ノ負擔スヘキ稅ト雖モ一時ハ代納セサルヲ得サルナリ

單稅ノ利益斯ノ如シト雖モ一國ノ稅則トシテ未タ完全無缺ノモノニアラサルナリ其理如何トナレハ収益金ノミニ課稅スルキハ其ノ収納スル所ノモノハ未タ一國ノ財用ヲ支弁スルニ足ラス英米ノ諸國ニ於テハ収益金ノミニ課スルカ故ニ國民ハ各自所有ノ資産ニ應シテ少額ノ租稅ヲ拂フナリ然リト雖モ兩國共其租稅ノミヲ以テ國用ヲ弁スルコ定ラサルカ故他ノ稅法ニヨリテ其ノ不足ヲ補助セゾトスルノ勢ナリ右兩國ノ歲入表ヲ閱スルニ最モ歲入多數ナル年ニテモ其ノ租稅ハ六分ノ一ニ當レリ故ニ六分ノ五ハ他ノ稅ヲ以テ補ハサルヲ得ス佛國ニテ

ハ毎年費ス處ノ金四億萬ノ巨額ナリ其ノ内三億萬圓ハ中央政府ノ費用ニ給シ一億萬圓ハ他方ノ費用ニ供ス國用ノ費用斯ノ如ク巨額ナル故ニ複稅ノ製ニアラサレハ決シテ費用ヲ償フコ能ハサルナリ是單稅ノ不可ナル第一ノ理由ナリ

第二ノ理由ハ如何ナル稅ト雖モ正當ノモノニアラサルカ故ニ収益金ノミノ上ニ課スル單稅モ亦不正タルヲ免カレス故ニ到底租稅ハ資産ニ比例シテ毫モ差ナキ能ハス法律ノ不完全ナル邦國ニ於テ特別課稅ニ不公平アルヲ見ルナリ假設不完全ナラスト雖モ多少ノ不公平ヲ免カルヘカラス如何ナル租稅ト雖モ政府課稅ノ法方ヲ顯示セサルヘカラス而シテ遂ニ其ノ課稅法ノ不完全ヲ來スハ左ノ三理由ニヨル第一課稅ノ不公平第二法律ハ善ハ則チ善ナリト雖モ其ノ法ヲ運用スル官吏ノ失誤過謬ヲ免カレス第三ニハ租稅愈ヨ苛嚴ナルニ從テ人々皆ナ

苟モ免レゾト計ル不正不義ノ人ノミ然ルニアラス良民善人ト雖モ免カ
 レテ耻ナキ也假設ハ有稅品ヲ輸入スルニ當テ脫稅ヲ計ラソカ爲メ叔
 稅官吏ノ眼ヲ偷ミ竊カニ輸入スルモノアルニ至ル此ノ如キ國民舉テ
 脫稅ヲ計ルノ極遂ニ租稅ヲ以テ國用ヲ支弁スル能ハサルニ至ル國用
 足ラサレハ勢増稅セサルヲ得ス然ルハ租ハ愈ヨ不公不正ノモノト
 ナルヘシ如何トナレハ狡猾無耻ノ人民ハ能ク稅ヲ免カレ正直公平ノ
 良民ハ苛稅ヲ負擔スルニ至ルナリ此等ノ弊害ハ醫スルニ法ナキニ非
 スト雖モ叔稅官吏ハ脫稅ヲ計ルモノヲ熟知スルカ故ニ正當拂フヘカ
 ラザルモノヲ拂ハシムルニ至テハ其害言ニ堪ヘサルナリ此等ノ弊ハ
 獨リ單稅ノミニアラス複稅ニ於テモ亦然リ然リト雖モ租稅ノ種類多
 數ナル故一稅ヲ免カル、モ亦一稅ヲ拂ハサルヲ得ス又有稅品ヲ消費
 スルニ當リテモ亦苟モ免ル、ヲ得ス識ラス知ラス負擔セサルベカラ

ス如何トナレハ租稅ヲ免カレゾト欲スレハ消費物ヲ買ハスシテ止
 ソノミ然レモ消費物ヲ買ハサレハ人間必需ノ衣食住ノ用ヲ欠ク故ニ
 到底稅ヲ免カル、ヲ得サルナリ之ニ反シテ單稅ナル時ハ彼此相償
 フニ能ハス一タヒ脫稅スレハ終始免カル、ヲ得ヘキナリ故ニ單稅ハ
 叔納ノ際容易ナリト雖モ遂ニ不公不正アルヲ免カレス然リト雖モ複
 稅モ亦叔稅ノ費用巨多ヲ要スル故是又完全ナラサレモ租稅ノ種類ヲ
 減シ叔納ノ費用ヲ減省スル時ハ不可ナリ佛國ニ於テハ租稅ノ種類甚
 ヲ少クシテ各種各類ニ付テ論スルハ一廉不公平ナキ能ハスト雖モ
 其全体ニ付テ云フモハ不公平ナク各自ノ資産ニ比例セシ租稅ヲ負擔
 スルナリ故ニ資産ノ多少ニ比例スルハ各種ノ租稅全体ノ上ニ在リテ
 其各種別ニ於テハ不公至ナルヲアルヘシ假設ハ馬車ノ稅ハ貧困ノ人
 拂ハサレモ富裕ノ人ハ拂フヘシ金銀其他珍玉寶石等ノ稅ハ富者之ヲ

拂ヒ貧者ハ拂ハサルナリ富者ハ資産饒ナリ故ニ拂フヘキ税モ亦多シ
 貧者ハ資産餘裕ナシ故ニ無用ノ有税品ヲ買フナシ是ヲ以テ又税ヲ
 拂フコト少ナシ之ニ反シテ租税ノ負擔富者ヨリ貧者却テ重キコトアリ鹽
 醬油等ノ税是ナリ蓋鹽醬油ノ類ハ日用品ニシテ貧富共欠クヘカラサ
 ル消費物ナリ故ニ富者ノ費ス處貧者ヨリ多カラス又或ル小數ノ人之
 ヲ拂ヒ其他ノ者ハ拂ハサル税アリ營業ノ税ノ如キナリ如此キ各種々
 ノ租税ニ付見ルルハ彼此輕重アリト雖モ租税全体ノ上ヨリ見ルルハ
 彼此ノ間ニ於テ甚々キ輕重アラサルナリ

第二ノ注意複税ハ各々別ニ収納セシムル故収税ノ費用多シト云フト
 雖モ全体ノ利害ヲ計較スレハ費用ノ多キ害ハ以テ賦課ノ公平ヲ得ル
 ノ利アルニ如カサルナリ又其ノ他ノ理由アリテ費用多キカ爲メ廢ス
 ヘカラサル税アリ海關稅ノ如キ是ナリ蓋シ關稅ノ費用ハ其所得ハ其

ノ出費ヲ償フコト能ハサルコトアレハ關稅ノ廢スヘカラサル理由ハ若シ
 之ヲ廢スルルハ一國ノ商業工藝ヲ不振ニ至ラシムルノ恐アレハナリ
 如何トナレハ關稅ヲ設ケスレテ外品ヲ自由自在ニ内地ニ輸入セシム
 ルルハ外品ハ税無キ爲メ低價ニ賣ルコトヲ得ヘシ低價ヲ以テ賣ルルハ
 内地ノ商品ヲ買フモノ無ニ至ル假設ヘハ羅紗三尺ヲ壹圓トシ政府之
 ニ課税スルニ百分ノ十ヲ以テス而シテ外品ハ關稅無カ爲メ内地ニ輸
 入シ内地ノ羅紗ヨリ低價ニ賣ルコトヲ得可シ假設ハ一圓五錢ニ賣ルル
 ハ内地製ノ羅紗ヨリ五錢低價ヲ以テ賣ルコトヲ得是レ内地ノ物產興隆
 ヲ衰頽セシムルナリ内地ノ物產衰頽セハ納税者ヲ減ス納税者減スレ
 ハ租税減ス租税減スレハ國用足ラサルニ至ルナリ故ニ關稅ノ費用多
 シト雖モ廢スヘカラサルヤ昭然タリ若シ強テ之ヲ廢セント欲スレハ
 内地ノ税ヲモ併セテ廢セサルヲ得ス各種別々ニ租税ヲ見ルルハ如此

キ結果ヲ生ス故ニ租税全体ノ上ニ付テ見ルヘキナリ第三ノ注意租税ノ大概ハ賦課ノ際ニ當テ如何アルニ到底國民一般ハ負擔スル處トナルナリ租税ヲ増加スルニ當テ其重荷ヲ擔フハ一時數人ノ如クナレ其ノ負擔ハ一時ニシテ終始負擔スル者ニハアラサルナリ此ノ顯象ヲ名ケテ他人ニ負ハシムル顯象ト云フ故ニ其ノ始メ數人ノ拂フタル税モ終ニハ國民全体ノ負擔スル所トナルナリ始メ租税ノ爲メ愁嘆スルヲアルモ終ニハ其ノ愁眉ヲ開クヲアリ假設ハ法律ニテ會社ノ株主ハ各々収益金十分ノ一ヲ政府ニ納ムヘキヲ命スルニ始メニ負擔スル者ハ誰ソ即チ株主ナリ會社ニアラサルナリ是ニ於テ株主ハ從來百圓ノ収益金ヲ領シタルニ課税以來九十圓ヨリ領収スルヲ能ハス恰モ法律ニ因テ政府ハ會社ニ株金ノ一部分ヲ有スルモノ、如シ如此ク始メハ株主ノ負擔ナレニ終ニハ會社ノ負擔スル所トナルナリ如何トナレ

ハ後日會社株金ヲ募集スル際ハ株主ニ向テ租税アルカ爲メ從前ヨリ一層利益ヲ計ラサルヘカラス株主ノ利スル多ケレハ會社ノ利スル所少シ故ニ株主ニ課スルノ税ハ始メ株主ノ負擔スルモ遂ニハ會社ノ負擔スル所トナル也會社ノ負擔スル愈々多ケレハ貸金ノ利子ハ愈々増加ス利子増加スレハ借主ノ損失愈々多シ借者ハ誰ソ國民ナリ故ニ曰ク租税ハ始メハ數人ノ負擔スルモ終ニハ國民一般ノ負擔トナルナリト故ニ是迄會社ハ年ニ百分ノ五六ヲ株主ニ拂フタルニ政府ハ收益ノ十分ノ一ヲ収ムルニ株主ノ得ル處ハ百分ノ四分五厘トナルナリ故ニ從前ノ如ク拂ハントスレハ會社ハ百分ノ五分五厘ヲ拂ハサルヲ得サルナリ若又會社ニ於テ株主ノ損失ヲ顧ス從前ヨリ一層利益ヲ與ヘサレハ資本ヲ有スルノ人民ハ他ニ資本ヲ轉スルノ恐アリ止ヲ得ス會社自ラ負擔ヲセサルヲ得ス故ニ政府ノ株主ニ課スル税ハ偶々會社ヲ困ムル

ナリ如何トナレハ會社ノ利益減少スレハナリ然リト雖モ會社豈獨ノ
 損失スルモノナラシヤ必ス他人ヲシテ負擔セシムルナリ仮設ハ製造
 會社ナル時ハ其製造品ノ償ヲ騰貴セシムル故之ヲ購求スル者ハ其ノ
 租稅ヲ拂ハサルヲ得ス仮設ハ或ル消費物茶或ハ肉其他食物上ノ稅ハ
 始メテ製造者ノ拂フナレモ終ニ負擔スル者ハ消費者ナリ消費者ノ内
 ニテモ職工農民等ノ如キハ賃銀ノ減スルカ故ニ他ノモノトハ甚ク困
 難スルナリ某ノ職工ノ窮スル極ハ終ニ餓死スルニ至ル職工餓死スレ
 ハ產物減ス產物減スレハ物價騰貴ス物價騰貴スレハ國民窮スルナリ商
 業ニ課スルノ稅モ亦然リ政府法律ニテ商業ノ利益十分ノ一ヲ上納ス
 ルヲ命スル時ハ第一ニハ商估ノ痛苦ヲ覺ユルハ勿論ナレモ終ニハ
 貨物ノ價ヲ騰貴スル故ニ其ノ痛苦ハ消費者ノ頭上ニ墮落スルナリ若
 シ又物價ヲ騰貴セシメテ消費者ニ負擔セシムル能ハサレハ製造ヲ廢スル

ニ至ルナリ租稅ヲ負擔スルニ現ニ拂フモノニアラスシテ其ノ有稅品
 ヲ購求スルモノ、負擔スル顯象ハ免カルヘカラサルノ顯象ナレモ未
 タ以テ確然不拔ノ原則ト爲スヲ得ス假設ハ相續ノ租稅ノ如キ現ニ拂
 フ者ハ相續人ナリ租稅ノ痛苦ヲ受クル者モ亦相續人ナリ此ノ負擔此
 ノ痛苦他人ノ頭上ニ墮落セシムル能ハス終始相續人ノ負擔スル所
 ナリ相續人ハ租稅ノ爲メ遺物ノ幾分ヲ減スルナリ是レ租稅ヲ他人ニ負
 ハシムル能ハサルノ第一例ナリ第二例ニハ政府輸出物品ニ租稅ヲ課
 スル時ハ其ノ稅ノ爲メ痛苦ヲ覺ユルモノハ誰レシ製造者ナリ然ラハ
 則チ製造者ハ輸出品ノ價ヲ騰貴セシメ外人ヲシテ租稅ノ痛苦ヲ負擔
 セシムルヲ得ヘキヤ決シテ負擔セシメ能ハサルナリ若シ物價騰貴
 スレハ外人ハ購求セサルナリ仮設ハ米國ニ輸出スル日本ノ生糸ニ課
 稅スル時ハ米人ハ日本ノ生糸ヲ買ハスシテ支那ノ生糸ヲ買フベシ如

何トナレハ日支ノ生糸其價ハ同シト雖モ日本ノ生糸ハ税アルカ爲メ支那ノ生糸ヨリ高價トナルヘシ故ニ輸出品ニ税ヲ課スルキハ現ニ拂フモノ、負擔スヘキモノニテ消費者ニ負擔セシムル能ハス強テ負擔セシメント欲セハ生糸ノ輸出ハ止ムナリ然リト雖モ内地ニ販賣スルノ商品ニ課スルキハ其ノ顯象同シカラス終始負擔スルモノハ消費者ナリ唯外商ノ競賣アラソトテ恐ル、ノミ佛國ノ政府ハ羅紗ノ若干ノ税ヲ課スル故ニ羅紗ノ製造者ハ利益ヲ全カラシメソカ爲メ羅紗ノ價ヲ騰貴スレモ外國ノ羅紗ハ前ト同價ニテ絶ヘス佛國ニ輸入スルカ故ニ佛國ノ消費者ハ内地ノ羅紗ヲ購求センヨリ寧ロ外品ノ廉ナルヲ購フヘシト此ノ時ニ當テハ内地ノ製造者ハ自ラ租税ノ痛苦ヲ負擔セサルヘカラス若シ此ノ害ヲ除カン爲メ海關稅ヲ増サント爲ソソカ各國通商ノ條約アルアリ漫リニ増加スルヲ得ス故ニ曰ク此等ノ場合ニハ

消費者ヲシテ租税ヲ負擔セシムルヲ難シ然リト雖モ是レ例外ノ事ニシテ通例ハ租税ヲ負擔スルモノハ消費者ナリトス、前既ニ租税ハ現ニ拂フモノハ負擔スルニアラスシテ消費スルモノ負擔スヘキモノナルヲ講シタリ故ニ從來賦課シタル租税ハ如何ニ不正不當ノモノト雖モ其不正不當ハ後年ニ至リテ消滅スヘシ是レ租税ハ消費者負擔スヘシトノ原則ニ因テナリ如此ナルヲ以テ從來ノ租税ノ不正不當ナルト云フ廢スルハ却テ不正不當トナルヘシ其理如何ト云ニ始メ租税ノ痛苦ヲ受ケタルモノハ不正不當ナリト雖モ終ニハ他人ヲシテ負擔セシムルカ故未タ某ノ顯象ハ生セサル前ニ當テ租税ヲ廢スレハ納税者ハ痛苦ノミヲ受ケテ他人ヲシテ負ハシムルヲ能ハサルニ至ルナリ仮設ハ政府地租ヲ倍シ是迄百圓ノ収益金アルモノヨリ税金十圓ヲ納メシメタルニ更ニ増テ二十圓ヲ徵集スルキ若シ土地所

有者土地ヲ賣却セントスルニ比シテ前ニハ此土地租稅ヲ除キテ九十圓ヲ得ヘキニ増稅ノ爲八十圓ニ減シタレハ其カ爲メ低價ニ賣却セサルナリ然ラハ則テ政府ハ宜シク廢稅スヘキカ否ナ決シテ然ラス政府此ノ低價ノ害ヲ防カン爲メ租稅ヲ廢スルハ其弊害ヲ矯ントテ却テ不正ヲ増スモノナリ如何トナレハ予課稅ノ土地ヲ九十圓ニ購求ス〔租稅ナキ以前ハ賣價百圓ナリ〕而シテ政府ハ此ノ租稅ヲ廢スレバ恰モ政府ハ新所有者ニ贈遺ヲ爲シ舊所有者ヲシテ獨リ租稅ヲ負擔セシメタルカ故ナリ故ニ租稅ヲ廢シタリト雖ニ始メノ不正不當ヲ消滅セシムルヲ能ハス會社ノ株主ニ課スルノ稅モ亦然リ今一ノ株ヲ讓ラントスルニ租稅アルカ爲メ原價ヨリ低價ニテ賣却セサルヲ得ス之ヲ賣タル後政府其ノ租稅ヲ廢スルハ新株主獨リ利益ヲ得ルナリ故ニ若シ租稅ノ製度其ノ宜シキヲ得サルハ之ヲ廢シ或ハ變セントセハ尤モ注意セ

サルヘカラス舊稅如何ニ不正ナリト雖ニ之ヲ廢スルハ益ス不正ナルヘシ故ニ既ニ存在シタル稅ハ皆善美ナルモノトハ云ヒ難シ時トシテ舊稅ヲ廢スルノ利ナルヲアルナリ仮設ヘハ相續稅ノ如キ是ナリ此ノ種類ノ稅ハ到底他人ヲシテ負擔セシムルヲ能ハサルヲ以テナリ若シ又租稅ノ制定以來日尙ホ淺キハ縱令不正ノモノト雖モ漸次ニ他人ニ負擔セシメ其ノ不正ヲ改ムルヲ得ヘキナリ前既ニ租稅ヲ課スル際ニ當テハ不正ノモノナリト云フヲ講シタリ不正ハ後日消滅スルヲアルモ稅アルカ爲メ物產ノ興隆ヲ妨害スル少ナシトセハ仮設エハ製造器械或ハ物貨ヲ運搬スルノ事ニ課稅スルハ之カ爲メ殖産上ニ幾分ノ影響ヲ及ホスヘシ以前佛國ニ在テ運搬車ニ稅ヲ課シタルヲアリシカ大ニ商業進歩ノ妨害トナリタルヲ以テ今日ハ之ヲ廢セリ租稅ノ商業ヲ害スル如斯ニト雖モ又時トシテ租稅アルカ爲メ必需品或ハ政

府消費セシテ欲スル物貨ヲ消費スルモノ少ナキニ至ルヘシ鹽稅ノ如キハ人生必需ノモノナレハ重課セサルヲ善トス昏筆墨新聞雜誌書籍等ノ稅ハ宜シク廢スヘキナリ之ヲ廢スルモ決シテ不正ニアラス又正當ニモアラサレヒ是等ノ種類ノ稅ハ一國文明ノ進歩ヲ妨害スルモノナレハナリ

直稅ト間稅トノ比較

直間兩稅ノ比較ヲナス前ニ兩稅ノ例ヲ舉クヘシ地稅及借家資本稅等ハ直稅ナリ但シ其ノ資本稅ハ都鄙ニヨリテ利害ノ多少アレハナリ間稅ハ酒稅煙草稅食物稅ノ如キ總テ消費品ニ課スルモノナリ故ニ現ニ拂フモノハ終始負擔セサルナリ
公簿記載稅モ亦間稅ナリ仮設ハ甲乙ノ二人一箇ノ契約ヲナサンニ他日ノ紛擾ヲ避ケン爲メ豫メ公冊ニ記載スヘキモノヲ云フ而シテ其ノ

稅ノ多少ハ其ノ契約其ノ事柄ノ難易ニヨル印稅ノ如キモ亦間稅ナリ

經濟上ノ直間兩稅ヲ論ス

經濟上ニテ直稅トハ立法官其ノ實ニ負擔スヘキモノヲシテ其ノ資産ニ相應スルノ出稅ヲ爲サシムル稅ヲ云フ故ニ其ノ拂フモノハ即チ負擔者ニシテ他人ニ負擔セシムルヲ能ハス現ニ拂フモノ各々負擔スヘキモノナリ而シテ其ノ稅ハ資産ノ多少ニ比較シテ收納スヘシ之ニ反シテ經濟上ノ間稅トハ立法官ハ直ニ其ノ實ニ拂フヘキモノニ賦課セシメテ一時他人ヲシテ代納セシムル稅ヲ云ナリ立法官ハ甲チシ一時稅ヲ拂ハシムルモ乙チシテ終始負擔セシムル故ニ其ノ租稅ハ一時代納スル甲ナル者ノ資産ノ多少ニ比例セスシテ乙者即チ終始負擔スヘキモノノ資産ノ多少ニ相應スルモノナリ直稅ニ付一二ノ例ヲ舉ケンニ今仮ニ政府ハ土地ニ課スルニ其ノ所有者ノ財産ノ多少ニ應ジテ拂ハ

シムルモノトシ又佛國ニ於テ人頭税ノ如キモ直税ナリ此ノ人頭税ト
 ハ一人一人ニ付キ何圓ノ税金ヲ拂ハシムルノ税ニシテ歐羅巴數十國ヲ
 除キ何レノ邦國ニ於テモ此ノ種類ノ税金アラサルナリ若シ國民ノ内
 其ノ人頭税ヲ負擔スルコト能ハサル時ハ他ノ法方ヲ以テ納メシムルコ
 アルヘシ又借家税ノ如キモ亦直税ナリ現ニ拂フモノ、終始負擔スヘ
 キモノコソ他人ニ轉擔セシムヘカラサルモノナリ併シ人頭税ハ時ト
 シテ間税トナルコトアリ前ニ云タル如ク地税ハ所有者資産ノ多少ニ係
 ハラスト云ト雖也其ノ所有ノ資産トハ總テ所有スル資産ヲ云ニアラ
 スシテ現ニ課税セラル、土地ノ収益金而已ニ比例スルナリ故ニ土地
 ノ一反ヲ有スルモノハ五畝ヲ有スルモノヨリ多クノ税ヲ拂フナリ其
 ノ拂フ所ノ者多キ故所有スル資産モ亦多トハ云ヒ難キナリ
 間税ノ例ヲ舉ゲハ煙草税鹽税飲食物税其ノ他總テ消費品ニ課スルノ

税ナリ一塊ノ牛肉ニモ税アリ一杯ノ酒ニモ亦税アリ牛肉ノ如キハ多
 ク外國ヨリ輸入スル故ニ之ニ課スルニ海關税アリ需用者其ノ税ヲ負
 擔スヘキナリ政府ハ現ニ拂モノ即チ牛肉ヲ賣ルモノヲシテ負擔セシ
 メス却テ買フヘキモノヲシテ終始負擔セシムルナリ
 公冊記載税ノ如キモ亦間税ナリ或ル事業ヲ爲シ或ル事ヲ爲サント欲
 セハ後日ノ紛擾ヲ避ケン爲メ豫メ公冊ニ記載シテ其ノ事ノ事實ヲ証
 スルナリ故ニ一事ヲ公冊ニ記載スルキハ其ノ事ノ難易ニヨリテ税ノ
 差異アリ印税印番税モ皆ナ間税ナリ是ヨリ三点ニ付テ直間ノ兩税ヲ
 比較スヘシ第一点ハ直間兩税ハ何レカ最モ好ク資産ニ比例スヘキ第
 二点ハ収税スルニ付テ直間兩税何レカ繁何レカ簡ナルヤノ点ナリ第
 三点ハ直間兩税ニ於テ歳入ノ多少直税ニスルト間税ニスルト歳入ノ
 点ニ於テ何レカ利益アルヤノ点ナリ

第一点直間兩稅何レカ好ク資産ニ比例シテ徵集シ得ルヤ
 理論上ヨリ云キハ租稅ハ納稅者ノ資産ニ比例シテ少シモ不同アルヲ
 ナシ若シ又單稅ニアラスシテ複稅ナルキハ正確ニ資産ニ比例ヲ取ル
 一能ハス立法官ハ宜シク収益金ノ多少ニ從ヒ比例ヲ以テ課稅スヘキ
 ナリ一言ニシテ之ヲ云キハ直稅ハ理論上ニテハ人ノ想像ヨリハ餘程
 好ク資産ノ多少ニ比例シテ徵收スルヲ得ルナリ之ニ反シテ間稅ハ決
 テ資産ノ多少ニ比例セサルナリ富者ハ其費ス所貧者ヨリ多シ多ク
 レハ拂フ所ノ稅モ亦從テ多キ理由ナレトモ其實然カラサルナリ富者
 必スシモ有稅品ヲ多ク消費セス貧者又必スシモ有稅品ヲ消費セサル
 トハ云ヒ難シ抑モ間稅ヲ負擔スヘキモノハ其有稅品ヲ消費スル者ナ
 レハ縱令如何ナル富裕者ト雖モ消費品ニ需用ナケレハ租稅ヲ負擔セ
 サルナリ故ニ間稅ハ寧ロ資産ノ多少ニ比例セスシテ需用ノ多少ニ比

例スヘキナリ需用大ケレハ即チ消費品ノ費多シ消費品ノ費愈ヨ多ケ
 レハ拂フヘキ稅愈ヨ多シ然リトモ大凡需用ノ多少ハ其ノ資産其ノ収
 益ノ多少ニ關スルモノナレハ収益多キモノハ費スコトモ多ク収益少
 ナキモノハ費スモノモ從テ少ナキハ勿論ナレハ収益ノ多少ニヨリテ
 稅ヲ拂フニモ多少アル可キト云フヲ得ヘキナリ右ノ如ク間稅ハ貧富
 ニ比例スルカ如シト雖モ人民日用必順ノ物品ニ至リテ富貧相關セサ
 ルモノアレハ全ク資産ノ多少ニ比例スヘキモノトハ云ヒ難キナリ仮
 設ヘハ鹽稅ノ如キハ佛國ノ租稅ニヨレハ甚ク苛歛ナリ而シテ鹽醬油
 ノ如キハ日常欠クヘカラサルモノナレハ年々五百圓収益アルモノモ
 五十圓アル者モ其ノ費ス所ノ額ハ甚シキ差異アラス五百圓ヲ得ル者
 ハ五十圓ヲ拂フモノニ比例シテ十倍ノ稅ヲ拂ハサルベシ故ニ間稅ハ
 収益ノ多少ニハ比例セザルヲ明白ナリ假設ニハ砂糖稅ノ如キモ富者

ナリト雖也必シモ貧者ヨリ多ク消費スルモノコハアラサルナリ又印
 稅公冊記載稅ノ如キモ収益金ノ多少ニ關セズシテ其ノ印紙タリ公冊
 記載ノ需メノ多少ニ比例アルベシ然リト雖也収益金ヲ多ク領スル人
 ハ需用取引モ亦從テ多キ理ナレバ印紙公冊記載ノ多キ知ルベキナリ
 故ニ曰ク稅ハ収益ハ多少ニ比例セズ需用ハ多少ニ比例スルト前既ニ
 論シタル如ク日常欠クベカラザル物品即チ鹽醬油稅ノ如キハ富者ト
 ナク貧者トナク共ニ同様ノ稅ヲ負擔スル故資産ノ多少ニ比例スルモ
 ノト云ベシト人或ハ云ハソ日常欠クベカラザル物品ニ課スルノ稅ハ
 貧富ニ關セスト雖也贅澤品ノ稅ニ至テハ富者ハ貧者ヨリモ需用多キ
 譯ナレバ其ノ拂フベキ稅ニ至テモ亦多シ彼是相償テ遂ニ資産ノ多少
 ニ應ジテ稅ヲ負擔スルニモ亦多少ノ別ヲ生スルナリト此說タル一チ
 知テ未ク其ノ二チ知ラサルノ說ナリ抑モ贅澤品ナルモノハ需用極メ

テ寡少ナリ其ノ収稅殆ソド九牛ノ一毛タルニ過ズト雖也日常ノ需用
 品ヨリ生スルノ稅ハ頗ル多シ故ニ日常品ニ課稅スレバ収ムル處ノ稅
 多クレバ若シ贅澤品ニ課スル時ハ収ムベキ租稅ナキニ至ルベシ何ト
 ナレバ贅澤品ハ購求セズト雖也事濟ムヘキ者ナルモ日常品ハ須臾モ
 欠クベカラサレハナリ故ニ或人ノ說ノ如ク彼是相償フコ能ハサルナ
 リ右ノ如クナルヲ以テ間稅ノ歲入ニ大部分ヲ供スル邦國等ハ或ル消
 費品ニ付テ貧民ヲシテ重稅ヲ負擔セシムルコトナルナリ然リト雖也
 其ノ負擔スルノ稅ハ需用ノ多少ニ關スル故ニ遂ニハ資産ノ多少ニ關
 スルコトナルベシ假設エハ清酒ニ於テ其ノ種類甚ダ多シ第一品ハ一
 升五十錢ニシテ第二品ハ卅錢トスレバ富者ハ第一品ヲ購求シ貧者ハ
 第二品ヲ購求スベキナリ然リト雖也富者ニシテ第二品ヲ購求セハ其
 ノ比例ヲ失フベシ何トナレバ富者ナレバトテ貧者ヨリ二倍ノ酒ヲ消

費スル者ニ非レバナリ故ニ結局十分ノ比例ヲ得ルヲ能ハズ何トナレ
 バ酒ノ種類多シト雖ヒ前ニ言フ如ク五十錢ト三十錢トノ大差ノアテ
 サレバ貧富共同價ヲ拂フヲ至ルベシ又酒類ノ好惡ヲ審査スルヲモ
 甚タ困難ナルヲナリ佛國ニ於テ清酒ニ二類アリ第一類ハ瓶ニ入ルモ
 ノニシテ第二類ハ樽ニ入ル、モノトス然リト雖ヒ第一類必スシモ第
 二類ヨリ美ナラス第二類又必ス惡カラス故ニ其ノ酒ノ美ナルカ惡シ
 キカヲ審査スルヲ甚タ難シトス之カ約言スレハ間稅ハ貧者ノ負擔ス
 ルモノ多シ直稅ハ富者ノ負擔スル者多ト云ニ過キス

第二点直稅ト間稅トノ叔稅ノ難易

直稅間稅ハ二ツナカラ叔稅ノ難ナキヲ得ス直稅ハ確定不變ノ價直ノ
 上ニ課スル者ナリ假設エバ土地借家稅ノ如シ是ヨリ直稅ヲ徵集スル
 際ニ於テ其ノ法方ニ於テ三箇ノ說アルヲ示シ一々其ノ利害ヲ論究ス

ベシ第一ニハ政府ハ納稅者ノ申告ニ照準シテ租稅ヲ徵収スルノ說ナ
 リ地租ハ土地ヨリ生スル利益ニ比例スルナレバ先ツ所有者ニ其得ル
 所ノ利益ノ幾何アルヤヲ問ヒ其答フル處ニ從テ叔稅ス第二ノ說ハ前
 以テ法律ニ因テ定メタル豫算ヲ根據トシテ叔稅スベシ假設エバ地租
 ハ其ノ土地ノ廣狹ニ應シタル稅金ヲ拂フベシト布告スルナリ故ニ葡
 萄園ハ一反ニ付キ二圓森林ハ一反ニ付キ一圓トスルカ如ク立法官ノ
 豫算ヲ以テ叔稅第三說叔稅ノ事ハ一切大藏ノ官ニ委任シ其ノ委員ノ
 意ニ隨ヒ或ハ豫算ヲ以テシ或ハ納稅者ノ申告ニ照準シテ叔稅セシム
 ベシ右三說トモ各弊害ナキ能ハス第一說ノ弊ハ政府ハ常ニ納稅者ノ
 偽告スル所トナルナリ甲ハ其實十反ノ田地ヲ有スルモ政府ニ告グル
 ニ五反ヲ有スルト偽告シ乙ハ正當ノ申告ヲ爲ス然ルキハ彼是不公平
 ナ生シ租稅ハ遂ニ不正不義タルヲ免カレザルニ至ル第二說政府自カ

ラ税額ヲ定ムルコトハ其方法タル實ニ疎ニシテ密ナラズ又人々ノ上納
 スルノ額ヲ定メ難シ甲ハ百圓ヲ上納シ乙ハ五十圓トシテ甲者ハ乙
 者ヨリ少ナキコトモアルベシ第三説大藏官吏ニ委任スルコトノ弊ハ若
 税官吏タルモ正直ニシテ且ツ廉潔ノ人タラバ可ナリ然ラザレバ彼ニ
 重斂ニシテ是レニ簿斂スルノ患アリ又官吏ト納税者トノ間ニ紛紜ヲ
 生ズベシ是レ直税ノ徵集ニ於ケル弊害ナリ單ニ論理ノ一方ヨリ云フ
 所ハ直税ハ能ク収益ノ多寡ニ比例スルト雖モ實際ニ於テハ不公平不
 平均無キ能ハス間税ノ徵集ニ於テハ直税ト同様ノ弊害アルヲ免レサ
 ルト雖モ間税ハ生産上ニ於テ害アリ就中消費物ノ税ハ其害一層甚ク
 シトス又海關稅ノ如キモ其ノ収稅甚ク難シ屢々有税品ニ無税ニテ輸
 入スルコトアリ或ハ夜中輸入スルアリ或ハ他人ノ名ヲ以テスルアリ其
 ノ奸計偽謀至ラザル所ナシ又内地ニ於テ製造スル物産ノ課税ヲ徵集

スルハ生産ノ隆盛ヲ害スルコト實ニ甚シトス何トナレバ假設ニ如何
 ナル高價ノ品ト雖モ収稅員ノ審査ヲ受ザレバ販賣スルコト能ハズ又他
 人ノ見ルヲ欲セザル製造所ヲ検査スルアリ又製造者物産ヲ賣ザル前
 ニ先ツ税金ヲ納メサルヲ得ス又収稅員ノ來ルヲ待テ后物品ヲ販賣セ
 ザルヲ得ズ是レ徒ラニ時ヲ費スノ弊アリ又海關稅ノ如キハ毎日關ヲ
 開カズンバ物産ノ輸入ニ害アリ又東方ヨリ輸入スル物品ヲ西方ニ輸
 搬シテ審査ヲ受ケザルヲ得ズ是又徒ラニ時間ヲ費スノ弊アリ何トナ
 ナレバ収稅ニ付テ確定ノ場所アラサレバナリ又物貨ノ原素ニ有税品
 アリ無税品アリ故ニ製造者ハ税ヲ免カレン爲メ其ノ原質ノ有害品ヲ
 ルヲ顧ミズ製造ニ用ユルニ至ル人ノ健全ヲ害スルノ弊アリ其ノ害其
 ノ弊如斯ク間税ノ徵収ニ難キ知ルベキナリ人或ハ云ハシ間税ノ徵収
 ニ於テ弊無キヲ得スト雖モ工業殖産ノ進歩ヲ獎勵スルノ益アリ從來

有稅品ヲ以テ製シタル產物モ無稅品ヲ以テ製スルヲ得ルニ至ル若シ無稅品ヲ以テ製スルヲ得バ廉價ヲ以テ賣ルヲ得ベシ千七百八十六年ニ當テエコス(英國ノ大部ナリ)ニ於テ亞留古留酒ハ有稅ナリキ當時如何シテ収稅シタルヤヲ考フルニ蓋シ大藏官吏ノ意ニヨレバ亞留古留酒ヲ釀造スルニハ必ズコレヲ桶中ニ投シテ温メザルヲ得ズ故ニ其ノ温メ桶ヲ有スル者ヲシテ其ノ大小ニ比シテ租稅ヲ拂ハシム假設エハ其ノ一石ヲ造ルベキ桶ニ課スルノ稅金一圓トシ其ノ桶ノ大小ニ從テ又稅金ニ多少ヲ生ズ斯ク亞留古留釀造ノ多少ヲ審查シテ徵集セズシテ造酒器ノ大小ニ因テ収稅スルガ故ニ同シ器ヲ以テ多量ノ亞留古留ヲ製スルノ法方ヲ發明スルニ至ル假令エハ從來一器ニテ一石ヲ造ルベキモノモ新ニ工夫ヲ運シテ二石或ハ三石ヲ造ルニ至ルベシ而シテ拂フ所ノ稅ハ一器ノ稅ニシテ二器ノ稅ヲ拂ハザルベシ偶々

租稅ヲ免カレント欲シテ造酒ノ新法ヲ發明シタルナリ抑モ此ノ發明ヲ爲シタル原因ハ稅アルガ爲メナリ故ニ曰ク間稅ハ工業ノ進歩ヲ獎勵スト此ノ說タル一利ヲ見テ十害ヲ忘ル、ノ說タルヲ免カレヌ是等ノ例ハ世上偶々稀ニ有ルモ實ニ僅々タルモノナリ間稅ハ總テ工業ヲ獎勵スベキモノトスルハ誤謬モ亦タ甚シト謂フ可シ假令當時ニ在テハ間稅アルガ爲メ亞留古留多釀速造スルノ新法ヲ發明シタリト雖モ是レ全ク収稅官吏ノ淡薄寡欲ノ致ス所ロニ非ザルヲ得ンヤ何トナレハ造酒高ニ課セズシテ造器ニ課セハナリ今日ニ在テハ収稅官吏ハ器具上ニ課セズノ物貨上ニ直ニ課スベシ故ニ製造高愈々多クレバ拂フ可キ稅モ亦愈々多カルベシ又今日ニ在テハ収稅ノ注意モ一層密ニシテ千七百年代ノ比ニアラザルナリ右ノ謬說ヲ信シテ遂ニ一國殖產ノ衰頽ヲ喚起スルノ例アリ亞米利加是ナリ千八百年頃亞米利加ニ於テ亞

留古留ニ税ヲ課シタリシニ収税官吏ノ考ニハ亞留古留ノ税ヲ拂フ者ハ之ヲ欲ムモノナリト而シテ亞留古留ハ工業藝術ニ欠クベカラザルモノタルヲ知ラザルナリ故ニ亞留古留ヲ使用スルノ工業ハ自然ト廢スルニ至レリ一工業廢スレバ一國物産ノ一部ヲ涸滅セシムルナリ之ニ由テ是ヲ觀レバ間税モ亦直税ト同一ノ弊害アルヲ免カレサルナリ

第三点直税間税収ムル所何レカ多キヤ

収ムル所ノ税額ノ多少ニ因テ論スルキハ直税ハ固ヨリ間税ヨリ多キヲ論テ俟タズ直税ノ税額中庸ヲ得シ税ハ収税ノ入費多カラズ之ニ反シテ間税ハ然ラズ有税品愈ヨ多クシテ収税ノ入費愈ヨ多ク歐羅巴ニ於テ収税费ハ大凡直税ハ三ニシテ間税ハ十二ノ割合ナリ直税モ中庸ヲ失シ重一層ヲ加フレバ収ムル所ノ税額隨テ減少スベシ政府若シ直税ヲ重クシテ職工貧民等ヨリ徵集スルハ日々拂ラハシムルヲ能ハ

ス職工ノ如キハ一日ノ勤勞僅ニ其ノ生ヲ濟スニ過キス決シテ餘剩アルヲ無ケレバナリ又毎年々末ニ収集セシカ一日得タル所ノ者ハ其ノ一日ニシテ費スモノナレバ貯金無キヲ如何ニ爲シ難シ終ニハ職工貧民ヨリ租税ヲ徵収スルヲ能ハザルニ至ルベシ之ニ反シテ間税ハ然ラズ拂フ者ノ職工タリ貧民タルニ論ナク確定ノ税額ヲ拂ハズ消費品ヲ購フ毎ニ知ラズ識ラズ拂フ故ニ租税ヲ拂ハント欲セハ拂フベシ拂ハザラント欲セバ拂ハズ假設ハ鹽税ノ如キハ貧民ノ爲メニ苛税ト云フ可キモノナレバ其拂フ處一年ヲ積ルモ僅々ノ額ニ過キズ日常買フ毎ニ拂フモノナレバ敢テ重荷タルヲ覺ユサルナリ又日常欠クヘカラザル品ニアラザルキハ金ナクレバ買ハズ金アレバ拂フベシ無ケレバ拂ハサルベシ然レバ直税ニ於テハ然ラズ職工貧民ト雖モ金ヲ貯蓄スルト否トニ關セズ拂ハサルベカラズ然リト雖モ間税ハ拂フモ拂ハサル

モ隨意ニ屬スル税ナリトハ云ヒ難シ何トナレバ日常欠クヘカラサル
 物品ニ至テハ金ノ有無ニ關セズ買ザルヲ得ザレハナリ仮設エハ鹽醬
 油米衣服ノ如キハ金ノ有無ニ關セザルナリ然レモ是等ノ税ハ購求者
 知ラス識ラス拂フモノナレハ直税ノ如ク現ニ定マリタル金額ヲ拂フ
 モノトハ異ナリ其ノ拂フモノ利益損失將如何アヤト問フニ佛國ニ於
 テハ大凡職工ノ類ハ直税ヲ拂ハザルナリ然レモ間税ヲ負擔スルハ他
 人ト別アルヲナシ佛國ノ憲法ニ因レバ代議士ヲ選舉スルニ普通選舉
 ノ法ナリ人アリ此ノ普通選舉ノ弊害アルヲ論シ幾分カノ制限ヲ置カ
 ノヲ主張セリ其ノ說ニ曰ク直税ノ幾分ヲ拂フ者ニ非ザルモハ代議士
 ヲ選舉スルノ權ヲ有セシメズ直税ヲ拂ハザル者ハ國事ニ參與スルノ
 權ナシ何トナレバ一國ノ利害痛痒アラザレバナリト此說タル謬誤モ
 亦甚シ抑モ職工貧民等ハ何等ノ理由ヲ以テ國民普通ノ大權ヲ有セザ

ルヤ直税ヲ拂ハザル爲メカ直税ヲ拂ハザレハ一國ノ利害ニ關セザル
 ト云カ職工貧民直税ハ拂ハズト雖モ間税ヲ拂フ他人ヨリモ却テ多額
 ナリ豈直税ノ別ヲシテ國用ヲ負擔スルトセザルト別タシヤ予云職
 工貧民等ハ國用ヲ負擔スル他ノ人民ヨリモ多シト假令間税ニ於テ海
 陸軍費ヲ拂フノ名義アラザルモ他ノ種々ノ名義ヲ以テ間接ニ拂フベ
 シ選舉ニ制限ヲ立ルハ直税ヲ拂ハザル故ナリトノ說ハ更ニ價值ヲ有
 セザルナリ且又間税ハ直税ヨリ多額ヲ徵収スルヲ得ベシ何トナレバ
 拂フ者ニ在テハ知ラズ識ラズ負擔スル者ナルヲ以テ多少ノ増税アリ
 テモ敢テ大ナル影響ヲ及ホサルナリ假設エバ「カツフェー」ノ税ノ如
 キ一國ノ富榮ナルニ隨テ「カツフェー」ヲ消費スル者隨テ増加ス煙草税
 ニ於テモ亦然リ別ニ租税ヲ増課セサルモ消費ハ増加スルニ隨テ政府
 収ムル所ノ税額増加スルナリ故ニ曰ク間税ハ一國ノ富強ナルニ隨

テ政府税法ヲ變更セズシテ、収ムル所ノ税額益ス多キヲ加フルニ至ルベシ直税ニ於テハ、然ラズ皮相ノ觀テ下スルハ直税モ間税モ共ニ一國ノ富強ナルニ隨テ増加スルガ如シト雖、其實際ニ於テハ富強ニ因テ直税ノ標準ト爲スベキ収益金ノ増加シタルカ否ヲ知ルヲ甚ダ難キナリ其ノ極終ニ収税官吏ト人民トノ間ニ於テ紛紜ヲ生スルニ至ルナリ故ニ曰ク直税ハ一國富強ニ赴クモ實際土地收穫ノ多少ヲ知ルヲ難ク之ニ反シテ間税ナレバ一國ノ富強ナルニ隨テ消費物ヲ買フ者益ス多シ消費者多クレハ其ノ税モ亦隨テ多カルベシ今茲ニ一ニ二ノ實例ヲ舉テ前説ノ虛妄ナラザルヲ證スベシ千八百六十八年ヨリ七十三年迄亞米利加合衆國ニ於テ政府ニ上納スル直税ノ額ハ百分ノ二十四ニシテ又間税ノ額ハ百分ノ三十五ニ至リタリ間税ヨリ徵收スル所直税ヨリ多キ知ルベキナリ斯ク間税ノ多キハ一國富強ニ赴キ消費スルモノ、

増加シタル徵効ナリ一千八百三十三年ヨリ一千八百六十九年ニ至ル迄佛國ニ於テ間税ノ額殆ント二百分ノ百三十六ニ至ル而シテ直税ノ額ハ僅々二百分ノ七十四ニ當レリ斯ク直税ノ非常ニ減却スル其ノ重ナル原因ノ一ハ即チ直税ハ大概割賦税ナレバナリ何トナレハ一國ノ富強ニ係セサレハナリ割賦税ノナハ前既ニ詳ナリ假設エバ政府ノ豫メ徵集スルノ額ヲ定メ國民ニ分配割付シテ徵收スルノ税法ナリ人或ハ曰ハソ政府財政困難ノ時ニ當テハ間税ノ收額非常ニ減少スベシ何トナレバ一國ノ富強繁榮ニ隨テ收額増加スベキモノナレバ財政困難ノ時ニアリテハ減少スルハ當然ノ理ナリト此ノ難問タル事實ノ適當シタルモノニハアテザルナリ縱令財政ノ如何程困難ニ陥ルト雖、直税ノ如ク頓ニ收額ヲ減ズルヲ無シ何トナレバ慣習ハ一時ニ變更スベカラザルナレバナリ喫茶喫煙ノ慣習ハ容易ニ變セザルベシ千八百年

リ千八百十五年迄英國ト佛國トノ戰爭アルニモ拘ハラヌ又財政ノ困難ナルニモ關セズ英國政府ハ依然國費ノ五分ノ四ハ間稅ヲ以テ支弁セリ是レ即チ慣習ノ俄ニ變更スベカラザル証ナリ之ニ由テ是ヲ觀レハ間稅ハ政府ニ徵收スル稅ノ多少ノ点ヨリ論スル時ハ直稅ヨリ優ル万々ナリ但シ立法官ニ於テハ間稅ヲ課スルニハ注意ヲ怠ラザルヲ要スベシ何トナレハ間稅ノ害ハ一時ニ顯ハレザレバナリ又佛國ニ於テ直稅ヨリ収ムル處僅ニ國費五分ノ一ナレハ間稅ハ殆ソド歲入五分ノ四ヲ供スルナリ豈其ノ多額ナルニ驚カザルヲ得ンヤ日本政府ニ於テハ間稅ノ供スル所實ニ少額ニシテ殆ソド無キモノ、如シ政府ノ費用ハ重ニ直稅ヨリ供スルナリ然ル所以ハ通商條期ノアルカ爲ナリ日本政府ハ輸入稅ヲ増減スルノ權アラヌ其ノ權アラサルカ故ニ内地ノ物産ニ課稅スルヲ能ハス何トナレバ外國物産ノ内地ノ物産ヲ壓倒ス

ルノ恐アレバナリ故ニ若シ内地ノ物産ニ課稅セント欲セバ必ス先ツ外品ニ課稅セザルヲ得ズ而シテ通商條期ノアルアリ恣ニ増減スルノ權ナシ一國獨立ノ点ハ勿論商業盛衰ノ点ニ於テ現今ノ假條約ハ一日モ早ク改正セサルヲ得ズ

租稅徵收ノ法ヲ論ス

租稅ヲ徵收スルニ二箇ノ法方アリ第一ノ法ハ政府官吏ヲ派遣シテ收稅セシムルナリ歐米ニ於テハ大概此ノ徵稅法方ヲ用ユ佛國ニ於テ熾火奴ニ課スルノ稅ハ或ル會社ニ其ノ收稅ノ事務ヲ委任セリ
 第二徵稅ノ法方ハ政府幾分カノ冥加金ナルモノヲ納メシメ收稅ノ權ヲ會社或ハ有資者ニ與フルナリ假設ニハ収ムベキ稅一万圓アルトキハ政府ハ有資者ニ命シテ先ツ八千圓ヲ拂リシメ收集スベキ一万圓ノ

収税權ヲ讓ルナリ往昔ニ在テハ歐羅巴各國ハ皆ナ此ノ法方ヲ用イタ
 リ第二ノ法方即チ有資者ヲシテ直ニ代納セシムルハ大ニ利益アリト
 ス如何トナレハ此ノ法方ニ因ルキハ急遽ノ資用ヲ弁スルヲ得レバ
 ナリ此ノ利益アリト雖モ一利一害一得一失ハ物ノ數ナレバ又此ノ利
 益ニ相當スルノ弊害アリテ存セリ其ノ弊害トハ第一政府ハ一萬圓収
 ムベキ稅ヲ八千圓ニ讓リタルモノナレバ假設エハ若干ノ冥加金ヲ拂
 ハシムルモ即チ二千圓ノ損失ナリ第二ニハ収税權政府ニアラズシテ
 有資者ノ手裡ニアルキハ納稅者ニ向テ毫モ假借スルヲナク天變地異
 ノアルアリ又人事ノ奇禍ニ遭遇スルアリト雖モ収ム可キ丈クハ嚴重
 ニ収ムル故人民ハ多少ノ難ヲ受クベシ若シ政府ナレバ寛大ノ法ヲ以
 テ収税スルガ故人民ノ困難ヲ生スルヲナシ政府人民ヲ視ル赤子ノ如
 シナレバ人民ノ政府ヲ視ルモ亦猶ホ父母ノ如ク敢テ憤怨ヲ抱藏セザ

レモ有資者ナルキハ嚴重ニ收税スル故ニ人民ノ怨ヲ來スナリ是ヲ以
 テ政府自カラ収税スルハ政府ノ利益ナリ抑モ有資者又ハ會社ナルモ
 ノハ何者ヲ畢竟一箇人ナリ人民ノ困難ヲ顧ミサルハ理ノ當サニ然ル
 ベキナリ夫レ然リ然ル故ニ國民ハ會社又ハ有資者ニ向テ多少ノ憤怨
 ヲ懷キ其極終ニ租稅ノ善タリ惡タルニ論ナク租稅ヲ非難スルニ至ル
 ベシ斯ノ如キ弊害アルガ故ニ右ノ徵収法方ヲ用ユルモノ絶テ無クシ
 テ稀ニアル所以ナリ

割賦稅ト全額ノ定マラズシテ賦課スベキ稅トノ區別ヲ論ス

割賦稅トハ前既ニ論シタル如ク政府費用ノ全額ヲ算シテ國民ニ割賦
 スル稅ヲ云フナリ此ノ稅ヤ大ナル弊害アリ其ノ弊トハ則チ他ニ非ズ
 政府ノ自儘勝手ニ其ノ全額ヲ定ムル是ナリ假ニ政府費用ノ全額一億
 萬圓トスレバ大藏卿ハ此ノ全額ヲ各縣ニ割賦シ甲縣ハ何萬圓乙縣ハ

幾万圓ト各々其ノ拂フベキ額ヲ命ス又各縣ノ議員ハ各郡ニ割賦ス各郡ハ各村各村ハ各戸ト漸次ニ割賦スル者トス如斯キ割賦ハ皆ナ擅斷ノ弊アルチ免カレズ然リト雖此ノ弊害ヲ避クルニハ公正ノ選舉ニ因テ委員ヲ撰ラミ割賦ノ事務ヲ調理セシムルニ在リ佛國ニ於テ特別ナル代議士ヲ撰ミ割賦ノ事務ヲ掌ラシム又各縣各郡ニ於テ民撰ニテ委員ヲ撰ミ擅斷ノ處分ヲ防ケリ

第二ノ弊害ハ第一ヨリ生スルノ弊害ナリ而シテ其弊害トハ割賦ニ擅斷アリテ不公平チ生スルヲ假設エバ収益金十分ノ一ノ地租トスルキ第一着ハ費用ノ全額ヲ各縣ニ割賦スト雖此各縣資産ノ額又ハ収益金額ハ幾何アルヤチ明瞭ニ調査スルヲ難シ収益金ハ十分ノ一チ拂フ者アリ又八分ノ一チ拂フ者アリ甲縣ハ八分ノ一ナリ乙縣ハ十分ノ一ナリ是レ第一免カルベカラザルノ失誤ナリ第二ノ割賦ニ於テ即チ各縣

ニ割賦スルル前ト同一ノ不公平チ生ズベシ甲郡ハ八分ノ一チ拂ヒ乙郡ハ十二分ノ一チ拂フ故ニ乙郡ノ人民ハ甲郡ノ人民ヨリハ薄稅ニテ足ルニ至ルベシ是チ以テ収益金ハ同一ニシテ上納スル稅額ニ至テ差異チ生ズ第三ノ弊害ハ割賦稅ハ全額ハ不變ニシテ政府臨時ノ費用ヲ要スルト雖此變更改正スルヲ得ズ何トナレバ納稅者ハ政府ノ租稅ヲ増減改正スル毎ニ苦情ノミチ唱エ収稅ノ困難チ生スルナリ然リト雖此租稅ニシテ正當確實ノモノナレバ斷乎トシテ其ノ苦情強訴チ拒絕シテ可ナリト雖此租稅ハ常ニ不正ニ陷イルモノアルガ故一度判定シタル全額ハ變更スルヲ容易ナラズ是レ割賦法ノ弊害ナリ此ノ弊害アリ之チ矯ムルノ益ナクシテ可ナラシヤ其ノ益トハ政府未ダ収稅セザル前ニ於テ豫メ歲入ノ額ヲ知ルナリ故ニ入ルチ量テ出ルチ制スルヲ得ベシ此チ第一ノ利益ナリトス予ハ信ズ平定稅(稅ノ幾何ナル

チ政府ニ納ムル前以テ知ラザルモノナリハ常ニ豫算外ニ多額ヲ収ムルコトアリト第二割賦法ノ利益ハ政府ニ収ムル税額ノ豫メ定マラザルノ課税法ヲ用ユルキハ預シメ税表ヲ作り何ハ何圓某ハ幾圓ト定メザルチ得ス是レ困難ノ一ナリ割賦税ナルキハ此ノ困難ノ患ナシ予ハ委員チ特撰シテ擅斷ノ道ヲ防キ割賦税ヲ用ユルノ便且ツ益アルニ若カザルナリト信ズ

是ヨリ前ニ歴舉シタル各税ニ付キ敢テ一言スベキコトアリ

第一直税ノ部類人頭税ノ事ヲ論スベシ
人税トハ佛語ニ於テ之ヲ頭ノ税ト云フナリ農タリ商タリ工タルニ輪ナク苟モ國民タルノ資格チ有スルモノハ其ノ資産ノ有無ニ關セズ各自負擔セザルベカラザル税ナリ而シテ其ノ税ニ尋常法ト遞加法トノ二種アリ尋常ノ人頭税トハ定マリタル税額ヲ納税者ノ資産ノ有無多

少ニ關セス各人同額ノモノチ拂ワシムルナリ佛國ニ於テ人頭税ノ税法ハ各國民ハ各勞働三日ノ賃銀チ拂ハシム其ノ賃銀ハ國會議院ノ定ムル處ナリ而シテ議士ノ賃銀チ低下ニ定ムルノ恐アルチ以テ法律ニ於テ制限チ立テ一日勞働ノ賃銀ハ我國ノ銀貨ニテ三十錢ヨリ多カラズ十錢ヨリ少ナカラザルベシ何トナレバ各縣各郡ニヨリ賃銀ノ高低アレバナリ此ノ制限法タルヤ頗ル事實ニ反セリ既ニ今日ニアリテハ賃銀ハ意外ニ騰貴シ又前日ノ比ニアラズ今日ノ賃銀ハ八十錢ヨリ三十錢ノ間ナリ尋常税ハ収税ノ際各民ノ資産チ密査スルノ勞ナキチ以テ計算ニ便アリ此利益アリト雖也又弊害ノ之ニ隨フアリ其ノ弊害トハ此ノ税法ハ全ク資産収益金ノ比例チ失スルコトナリ一圓チ贏シルモ千圓チ贏シルモノモ同一ノ税額チ拂ハサルチ得ザレハナリ故ニ人頭税ハ宜シク廢スベシ設ク置クベキ理由ナシ第二ノ弊害ニハ収税ノ

難キヲ是ナリ職工貧民等ノ如キハ日々得ル所ノモノヲ以テ僅ニ其ノ生ヲ濟スニ過ザルヲ以テ租稅ヲ拂フヲ甚ク困難ナリ佛國ニ於テ大槪ノ都府ニ在テハ細民ニ人頭稅ヲ免シ入府稅ヲ以テ之ニ充テシム入府稅トハ他都府ヨリ該都府ニ輸入スル物品ニ課稅スル稅ナリ此ノ稅ヲ名ケテ「オクトロワ」ト云實ニ簡易ノ法ト云ベシ

地租ノ事

地租ハ租稅中尤モ重ナルモノニシテ地益金ニ比例シタル稅ヲ賦課スルナリ此ノ稅ヲ賦課スルニ當テ標準ト爲スベキモノハ土地カ將収益金カ大凡純益金ハ地價ニ比例スルモノニシテ地價百圓ナレハ十圓ノ純益アリ二百圓ナレハ二十圓アルガ如キ又時トシテハ地價ニ比例セザルヲモアルナリ茲ニ甲乙二箇ノ田地アリ共ニ千圓ノ地價ナリト雖モ収獲高各平等ナラズ甲ハ二百圓ノ純益アリ乙ハ一百圓ノ純益ナリ

アリ故ニ租稅ハ地價ニ準スルト純益金ニ準スルト大ナル差異アリ何レヲ準據スルヲ善トスルヤ大凡歐羅巴諸邦ニ於テハ耕作費其ノ他ノ諸入費ヲ引去リ純益金ノミニ準據シテ徵收スルナリ佛國ニ於テハ如何シテ徵收スルヤヲ問フニ一千八百八年ヨリ同四十八年迄ノ間ニ於テ水帳ヲ製シ土地ノ肥瘠價格ノ高低ヲ知ルニ便ニスルナリ(其ノ水帳ナル者ハ第一ニハ土地ノ位地ニ準シテ列記シ甲地ハ某ニ屬シ乙地ハ某ニ屬スト一々各所有主ノ姓名ヲ記載ス第二ニハ其ノ土地ノ價格ヲ明記ス)抑モ此ノ水帳ニ於テ土地ノ肥瘠廣狹地價ノ如何ヲ知ルト雖モ地價ヲ定ムルニ於テ不公平アルヲ免カレズ當時ニ在テ佛國ノ地租ハ僅々二千二百万ノ前後ナリキ今日ニ在リテハ農學ノ進歩著シキヲ以テ収益高モ從前ノ如クナラズ殆ソド五倍ノ多額ニ至リタリ前ニモ云ヒタル如ク水帳製設以來収稅上ニ於テ不公平アリテ彼是ニ厚薄ヲ生

シ其ノ差一ト二十トノ大ナル差異ヲ來セリ如何トナレバ甲縣ニ於テハ地價ヲ定ムルニ十分ノ計算ヲ用ヒズシテ格外ノ低價トシ又乙縣ニ在テハ非常ノ高價ニ定ムル故地價ニ比例シテ租稅ヲ拂フキハ非常ノ差異ヲ生ズルナリ今其ノ差異ヲ比較スルニ少ナキモノハ一ニシテ多キ者ハ二十ノ割合ニ當ルナリ斯ク不公平ヲ生スルハ實ニ免カルベカラザルモノナリ假設エハ十萬圓ヲ以テ土地數百丁ヲ購求セシニ其ノ土地ヨリ生スル所ノ純益金ハ一萬一千圓トシ政府ニ拂フモノヲ假ニ一千圓トスレバ所有者ノ得ル所ノ純益金ハ即チ一萬圓ナリ其ノ後此ノ土地ヲ十萬圓ニ賣却セタルニ政府徒求一千圓ノ稅額ヲ増加シテ二千圓トナスキハ誰人カ其ノ損失ヲ受クベキヤ即チ買ヒタル新所有主ノ損失ニシテ賣タル舊所有主ノ利得タルヤ瞭然タリ何トナレバ舊所有主ノ土地ヲ有スルキニ當テハ稅額ハ千圓ナレバ即チ一萬圓ノ利

得アリ之ニ反シテ新所有主ハ租稅ノ増加シタルヲ以テ得ル所ノ純益金ハ即チ九千圓ナリ(二千圓ノ稅ナレハナリ)新所有主將サニ云ハントス若シ前ニ租稅ノ増加センコトヲ知リタラシニハ八萬圓ニ非ザレバ買ハザリシコト何トナレバ往時ハ租稅千圓ナルモ今ハ二千圓ナレバナリ恰モ新所有主ハ舊所有主ニ向テ年々一千圓ノ贈遺ヲ爲シタルニ異ナラズ故ニ稅法ノ變更ハ不公平ヲ生スル如斯基ナリ何トナレバ彼ニ奪ヒ是レニ授クルノ理ナレバナリ英國ニ於テ地租ヨリ収ムル金額ハ僅々五百万圓ニ過キズ又伊太利亞ハ百六十萬圓ナリ大凡是等ノ國ノ地價ハ佛國ニ比スレバ低價ナレバナリ然リ而シテ稅額ノ多キハ其ノ課稅ノ重歛ナルヲ知ルベシ佛國ニ於テ地租ノ稅額高ハ千七百二十萬圓ナリ内五百万圓ハ建家稅ナリ

第三直稅借家ノ事

歐羅巴諸邦ニ於テハ借家税ナルモノアリテ家ヲ借ルモノ、拂フベキ税ナリ而シテ其ノ借家ノ地位建築ノ善惡廣狹或ハ良否美弊ニ隨テ拂フ所ノ税モ大ニ差異アリ何トナレハ家ヲ借ルモノハ各其ノ資産其ノ収益金ニ應シテ借ルモノナレハナリ富者ハ美宅ヲ借ルベシ貧者ハ弊屋ヲ借ルナラン故ニ借家税ハ資産ニ比例スベシト此ノ見積リタル甚タ當テ得ズ借家ニ都鄙ノ別アリ富者必スシモ美宅ヲ借ラズ又都府ニテ家ヲ借ルモノト鄙ニテ借ルモノト其ノ資産同シカラズ又此ノ税ハ多數ノ家族アルモノニ課スルニ不都合ナリ借人僅ニ夫婦二人位ナレバ廣大ナル家屋ヲ要セズト雖モ若シ借家人數十人ニシテ妻アリ子アリ兄弟アリ姉妹アル者ナレバ廣大ナル家宅ヲ要スベシ今借家人二箇ノ資産ヲ見レバ敢テ差異アラザルニ其ノ拂フ所ノ税ニ大ナル差異ヲ生スルハ彼ニ厚ク是ニ薄キニ非ズヤ此ノ弊ヲ矯メシ爲メニ國會議

院ニ於テ左ノ法ヲ議定セリ四百圓ヨリ六百圓迄ノ借家賃ヲ拂フモノハ何圓百圓ヨリ四百圓迄ノ借家賃ヲ拂フモノハ何圓トノ部類ヲ定メ獨身ノモノハ第一部分ニ入レ又妻アリ三人以上六人以下ノ子アルモノハ第二ノ部類ニ入レ鰥夫ノ借賃ヨリ小數ノ割ヲ以テ拂ハシム此ノ種類ノ税ハ猶ホ割賦税トス佛國ニ於テ借家税ノ金額ハ年々九百五十万圓ノ巨額ナリ

第四直税營業稅ヲ論ズ

營業稅ナルモノハ諸税中尤モ重ナルモノニシテ商業ノ種類ニ應シテ賦課スベキ者ナリ其ノ租税ノ性質ニ付テ云フハ甚タ至當ナル者ナリト雖モ租税ヲ徵収スル際ニ於テ多少ノ困難アリ課税ノ時ニ當テ商業ノ損益好惡ヲ知ルコト是ナリ若シ商估ノ申告ニ因テ課税セシカ利益アル商業ヲ之ナシト偽告スルノ恐アリ然ラバ政府自カラ其ノ利益ア

ルモノトナキモノトヲ定メシカ謬誤ノ恐レアルナリ若シ又政府官吏
 ナ遣ハシテ一々商店ニ入り實際ヲ審査セントスレバ營業ノ自由ヲ害
 スルヲ奈何セン今假ニ商店ニ就テ帳簿ヲ審査シテ商業ノ自由ヲ害セ
 サルモノトスルモ大概商業上ノ帳簿ナル者ハ符合字ヲ用イ平人ニ解讀
 スル能ハサルヲ如何セン又商業ハ機密ヲ要スルモノナレバ帳簿ヲ秘
 匿スルノ恐アリ且又此ノ種ノ租稅ハ目的トスル處商估ノ得タル純益
 金ニ比例シテ取立ルモノナレバ商店ノ宏莊ナルト否トニ比例スルヲ
 得ズ縱令比例スルモ其ノ結果タル非常ノ不公平ヲ生ズベシ銀行ノ如
 キハ取引ノ盛ナル利益ノ大ナル他ノ商估ノ比ニアラズ而シテ其ノ商
 店其ノ外裝ノ如キハ商業ノ盛大ナルニ比スレバ大海ノ塵埃モ齎ナラ
 ズ豈外裝ニ因テ商業ノ榮枯ヲ知り盛衰ヲトスルヲ得ンヤ然ラハ則チ
 銀行資本ノ多寡ニ據テ徵收センカ貸金ノ多少銀行手形其他流通資本ニ

屬スルモノヲ詳細ニ知ルヲ得サルヲ如何セン或ル人ノ説ニヨレバ彼
 銀行ノ每年取扱フベキ業務ノ數ニ準據シテ課稅スベシト此ノ説ニヨ
 レバ銀行ノ得ル所ノ純益ヲ知ルニ由ナシ假設エバ豪商ハ業務盛且
 ツ大ナリト雖モ利ヲ得ルヲ寡シ之ニ反シテ小賣ヲ爲ス商估ハ其業盛
 大ナラズト雖モ利ヲ得ルヲ却テ豪商ヨリモ多シ之ニ由テ是ヲ觀レバ
 利益ノ多少ハ業務ノ多少ニ關セザルナリ又時計屋ノ如キハ資本ノ流
 通稀ナレバ利ヲ得ルヲ他ノ商估ノ及ブ所ロニ非ズ故ニ商業ノ多少ニ
 因テ租稅ヲ課スルヲ到底能ハザルナリ斯ノ如ク營業稅ハ商業ノ盛
 衰ニ關シ又準據スベキモノナキニモ拘ハラズ之ヲ廢スル能ワザルハ
 蓋シ歲入ニ於テ非常ノ巨額ヲ供スレバナリ佛國ニ於テハ營業稅ノ總
 高ハ實ニ一億千七百萬フランナリ(フランニハ我二十錢ニ當ル)

諸會社ノ株稅贅澤物品ノ稅畜犬稅車馬稅等ノ如キハ佛國ニ於テ歲入ノ大部分ヲ占ム贅澤品ノ稅ノ如キハ實ニ少數ナリ或ル人ノ說ニ因レバ贅澤品ハ日常欠クベカラザル品ニアラザレバ之ニ重リ課稅スルモ妨ケナシ故ニ充分重課シテ日常品ノ稅ヲ薄クスベシト此ノ說タル一ヲ知テ未ダ其ノニテ知ラザルノ說ノミ贅澤品ハ日常ノ品ニアラズト雖モ若シ制限ヲ設ケズ漫ニ重課スルキノ贅澤品ヲ買フ者無キニ至ルベシ寧ロ重課セズシテ多少ノ稅金ヲ徵集スルノ優レルコ如カズ立法官タル者宜シク注意シテ制限ヲ超過セザルヲ要ス佛國ニ於テ贅澤物品稅ノ總高ハ三千五百万フランナリ

雜種稅中附屬稅トシテ収益金ノ上ニ賦課スルモノアリ而シテ其ノ収益ノ多少ヲ知ルハ納稅者ノ申告ニ依ルナリ抑モ此ノ附屬稅ノ利益課稅ニ不衡不平ナラサラシムル爲メ其ノ申告ニ依ルナリ商估ハ營業稅

ヲ拂ヒ借家人ハ借家稅ヲ拂ヒ醫師ハ醫師免許稅ヲ拂フ物トシテ拂ハザルナク業トシテ課セザルナシ而シテ商ニ非ズ工ニアラズ又農ニ非ズ醫ニアラズ又代言師ニアラズシテ若干ノ収益金ヲ有スルモノアリ是等ノモノニ課稅ナクシテ可ナランヤ是レ此ノ附屬稅アル所以ナリ其ノ課稅ニ至リテハ収益ノ多少ヲ審査スルニ甚ダ困難アルナリ又其ノ他ノ不都合ハ農民ニシテ既ニ地稅ヲ拂ハシメ復タ収益金ニ賦課ス可キヤ將又他種ノ稅ヲ課スベキヤ土地ヲ有セザルモノト雖モ収益金ヲ有スルモノアリ又縱令如何ニ富裕ナル者ト雖モ地稅ヲ拂ハザルモノアリ故ニ土地ヲ有セズト雖モ多少ノ収益ヲ有スルモノハ其ノ収益高ニ比例シテ納稅セシムベシ但シ其ノ収益ヲ審査スルコト甚ク難シ英國ニ於テハ三百七十五フランヨリ以下ノ収益アルモノハ収益而已ニ課シテ地稅ヲ拂フコト免ズ又三百七十五フラン以上ヲ有スルモノハ三

百七十五フランヲ除キ剩ル金額ニ課税スルナリ假設エバ収益金五百フランヲナレバ三百七十五フランヲ引キ去リ殘ル百二十五フラントナルベシ而シテ其ノ百二十五フランニ課税ス此ノ種類ノ租税ハ甚ク少額ナレ共國民ノ喜ハザル税ナリ英國政府ハ那破崙第一世ノ敗績後巨額ノ國債ヲ償却セシメ爲メ此種ノ税額ヲ増加シタリ又「フリフシウ」ニモ同一ニ此種ノ税アリ英國ト反シテ小民貧人ニ迄賦課スルト雖モ唯部類ヲ立テ貧富ニ應ジテ納ムベキ額ヲ定ムルナリ第一ハ遞加税法ニシテ確定シタル収益高ニ賦課シ第二ハ貧民ノミニ課スベキモノナリ其ノ収益高ノ制限ハ三百七十五フラン以上ナリ順次遞加ノ法ナリ三百七十五フラン以下ノモノハ賦課スヘキ税無シトス伊太利亞ニ於テ収益金ノ上ニ課スル税甚ク重シ其ノ比例ハ百分ノ十二或ハ十三ニ當ル如此ク重ナル所以ハ租税ヲ以テ楮幣ヲ償却セシメカ爲メナリ而シテ其課

税ノ法タルヤ貧富ノ別ナク均シク賦課スルカ故貧民ノ困難大方ナラズ國中人民四分ノ一ハ拂フコ能ハザルモノアリ然リト雖モ其ノ収益ノ總高ハ無慮一億八千万フランノ多キニ達セリ佛國ニ於テ間税ノ總高ハ三億八千万圓ナリ佛國ニ於テノ間税ハ實ニ巨額ニシテ歲入ノ大概ヲ供スルカ故一國經濟上ニ於テハ欠クベカラザルモノナリ又行政上ニ於テ徵スル税アリ或ル行爲ノ税土地賣渡シノ税ナリ印紙税公冊騰記税モ亦行政上ノ税ナリ抑モ右ノ印紙公冊騰記ノ必要ナルハ他日ノ転授ノ生スルヲ防キ又生シタルニ當テ其ノ公正ナルヲ証スルニアリ而シテ法律ニテ命シタル行爲ニハ必ず用ヒザルヲ得ザルナリ假設エハ今借家ヲ約束スルニ必ス印紙ニ其ノ年限ト賃銀トヲ記載セサルヘカラズ但シ法律ノ命セサル行爲ニ付テハ用ヒサルモ妨クナシ印紙税ハ行爲ニ因テ差等アリ第一訴狀其他裁判所ニ關スル行爲ニハ必

ス印紙ヲ用ユ第二切手ノ如キモノアリテ金銀貸借證諸請取簿ニ貼用ス
 公冊ニハ人民互相ノ契約其他法律ニテ命シタル行爲ヲ騰記スルナリ
 此ノ設ケアル所以ハ契約ノ年限事實ヲ確實ナラシムル爲メナリ今物
 品ヲ賣買スルニ買者ハ賣買條約ヲ爲シタル日月ヲ記スルハ甚シキ利
 益アリ公冊騰記税ノ甚タ重歛ナリト雖モ政府此ニ因テ歳入ノ不足ヲ
 補セント欲スルナリ又行爲ノ性質ニ因テ税金ニ差等アリ賣買ノ行爲
 ハ何圓借家贍記税ハ何圓トノ如シ又動産ト不動産トノ別アリ如此キ
 税アルガ爲メ訴訟セント欲セバ非常ノ入費ヲ要スルガ故ニ損益相償
 ハズ終ニ訴ナカラシムルニ至ルベシ假設エバ貸金取戻セント欲シテ
 却テ訴訟入費ノ爲メ得ル所失フ所ロテ償ハズ此ノ弊ヲ醫セン爲メ佛
 國ニ於テハ特別ノ訴訟法アリテ貧民ノ爲メニハ裁判費用其ノ他一切
 ノ入費ヲ政府ニテ弁ズルコトアリ此ノ特別保護ヲ受ケント欲セバ正シ

ク貧民タルコトヲ照明セザルベカラス

相續贈遺等ノ行爲モ亦同シ公冊ニ騰記シ相當ノ税ヲ拂ハザルベカ
 ラズ假設エバ今予或ル人ノ遺物ヲ相續セント欲セバ公冊ニ記載シ相
 當ノ税ヲ拂フベシ而シテ其ノ税額ハ相續スルモノ、親族ノ階級ニ因
 テ差別アリ(一等親ナレバ何圓二等親アレバ何圓ノ如シ)
 子ノ父母ノ遺物ヲ相續スルハ遺物百分一ノ税ヲ拂フ其ノ他ノ親類ハ
 百分ノ九ヲ拂ハザルヲ得ズ如此ク近親ノモノハ僅少ノ税ヲ拂フ遠親
 ノモノハ多分ノ税ヲ拂フ其ノ理如何ト云ニ遠親ノモノ、相續スルハ
 豫期セサル利益ニシテ殆ント天上ヨリ墮落シタルモノ、如シ故ニ多
 少ノ税ヲ拂フモ左シタル妨ケナシ近親ノモノニアリテハ然ラズ子
 ルモノ、父母ノ遺物ヲ相續スルハ固ヨリ當然ノコトニシテ子ハ是ノミ
 ニ因テ衣食ヲ佐クル者ナレハナリ此ノ税ヲ拂フニハ相續ニ負擔スベ

キ義務アルモノモ又無キモノモ同一ニ義務ノ一部トシテ拂テハサルヘカラス假設エバ二千圓ノ遺物ヲ二人ノ子千圓ツ、チ相續ス其ノ税金五十圓トスルキハ一人ハ義務ナキガ爲メ租稅ヲ拂ヒ尙ホ九百五拾圓ヲ有スレ他ノ一人ハ義務無キカ爲メ相續シタル金ヲ以テ租稅ヲ拂フコト能ハス止テ得ズ相續ヲ辭スルニ至ルヘシ故ニ正當ナル租稅法ニヨレバ諸口ノ義務ヲ引去リタル後餘利アレバ徵收シ餘剩ナケレバ収集セサルチ好シトス不動産賣買ヲ公冊ニ記載スルノ稅ハ甚タ重シ又大賣ヨリ小賣ニ重キ比例ナリ幼者ノ懲治權入身代限りノ處分ヲ受ケタルモノ等ノ財產ハ裁判官立テ合ノ上公賣スルガ故ニ多分ノ費用ヲ要ス其ノ得ル所其ノ失フ所ヲ償フコト能ハザルアリ此ノ種ノ收稅額ハ無慮五千二百萬圓ナリ又印紙稅ノ收額高ハ一千四百七十萬圓右二稅ヲ合シテ六千六百七十萬圓ナリ

佛國海關稅ハ收稅高多カラザルニアラズト雖モ此ノ稅タル政府ノ費用ヲ支弁センカ爲メニ設クルモノニアラズシテ之ニ因テ内地所產ノ物品ヲ課稅スルチ得ルカ爲メナリ何トナレハ若シ海關稅ナクシテ漫ニ内地ノ物產ニ課稅スルキハ外品愈々輸入ス外品愈々輸入スルハ内地ノ物產ヲ買フモノナシ遂ニ内地ノ商業ノ衰頽ヲ來スベシ佛國海關稅ノ所得ハ三千万フランナリ海關稅ニ於テ主トシテ課スベキ物品ハ殖民地ヨリ輸入スル穀類ナリ其他何品ニ限ラズ多少ノ稅ヲ課スルナリ英國ニ於テ自由貿易ヲ行フ故ニ海關稅無キモノ、如ク考フルモノアリト雖モ決シテ然ラズ現ニ英國ニ於テ收ムル所ノ海關稅額ハ年々五千萬圓ノ巨額ナリ同國ノ海關稅法ハ實ニ宜シキヲ得輸入諸品ニ課稅セズシテ唯四品而已ニ課スルナリ其四品ハ即チ煙草、カツ、エ、茶、酒類ナリ此ノ四品ニ課シ得ル所ノ稅額ハ五千萬圓ナレ此ノ稅

タル内地物産ノ不振ヲ保護スル爲メニアラスシテ唯政府財政ノ一部ニ供スル爲メニ過キス
運搬税ハ物産ノ流通ヲ妨害スルカ故一國ノ經濟上ヨリ論スレハ有害無益ノ税ナリトス

前既ニ云ヒタル如ク諸消費品ノ上ニ課スル税ハ多少害アリト雖モ又大利ノアルアリト害ヲ以テ大利ヲ減没スルヲ能ハス何チカ大利ト云フ一國富強ニ進ムニ從テ消費モ亦隨テ増加スルハ自然ノ理ナレバ政府ニ収ムル税額ハ益ス多キチ加フ是レ即チ大利ナリ如何トナレバ政府租税ヲ増加セズシテ収ムル處多クレハナリ然リト雖モ此ノ税アルガ爲メ物産増殖ニ多少ノ影響ヲ及ホス是レ其ノ害ナリ前ニモ云タル如ク間税ハ寧ろ資産ノ多少ニ比例セズシテ需用ノ多少ニ比例スルト併シ或ル物品ニ於テハ全ク資産ニ比例スルモノアリ「カツフエー」茶砂

糖ノ類是ナリ蓋シ富者ノ費ス所貧者ヨリ多キガ故ナリ茲ニ租税ヲ課シテ厚生利用ノ大道ニ害ナキモノアリ煙草税亞留古留税是ナリ煙草ハ蓋シ健康ニ害アルモ決シテ益ナシ然ラバ則チ假令重課シ苛斂スルモ敢テ厚生ノ道ニ妨ケナシ又亞留古留ノ類ハ其質頗ル危険ノモノニシテ飲量ヲ誤マレバ身体ヲ害シ精神ノ知覺ヲ失ヒ甚シキニ至テハ生命ヲ奪フニ至ル宜シク重課シテ間接ニ需用ノ道ヲ妨グベキナリ之ニ反シテ厚生利用一日モ欠クベカラザル物品ニ課スルニ重厚ノ税ヲ以テスルハ一國經濟上ニ於テ其ノ眞理ニ背ク而已ナラズ苟モ人民ノ幸福安寧ヲ保護スルノ責任ヲ有スルモノ、爲スベカラザルモノナリ然リト雖モ生命ニ害アリテ益ナキノ物品ハ僅々ナレトモ課税ノ物ハ多クハ民ヲ利シ世ヲ濟スル必需品ニ多シ假設エバ鹽稅食物稅紙稅書籍稅新聞雜誌等ノ税ノ如キ是等種類ノ税ハ可及的輕課薄斂チ好トス獨リ

如何セシ佛國等ニ於テ是等ノ種類ノ稅額ハ政府費用ノ大部分ニ供スルガ故一割之ヲ廢スルヲ能ハザルナリ鹽稅ノミニテ三百三十万ナリ飲料ニ課スルノ稅其ノ歲入四千二百万ナリ或ル國ニ於テ飲料ノ稅ハ八千万ノ巨額ナリト云英國ニ於テハ茶及ヒ其他ノ飲料ノ稅高ハ無慮九千万ナリ又佛國ノミニ生スル砂糖ニ課スル稅金ハ千百二十万ニシテ外國ヨリ輸入スルモノヲ合スルハ千八百二十万ナリ又煙草稅ハ二千六百五十万ナリ是レ消費物上ニ課スル租稅ノ一理ナリ此種ノ稅ヲ名ケテ行政上間稅ト云フナリ

地方ノ財源ヲ論ス

前既ニ政府ノ財源ニ二種アリテ一ハ通常財源即チ政府所有ノ土地工場ヨリ生ズル利金及ヒ租稅ニシテ他ノ一ハ非常財源即チ内國債外國債ナルヲ論シタリ地方モ亦一國ノ如ク地方ノ財源ニ通常非常ノ二

種財源アリ何チカ通常財源ト云地方共有ノ土地工場ヨリ生ズル利金中央政府ヨリ國稅ノ内若干チ地方經費支弁トシテ下渡スヘキモノ及ヒ地方雜種稅是ナリ何チカ非常財源ト云州債縣債是ナリ

往昔ニアリテハ國稅ハ政府財源ノ重ナルモノニアラサリシ今日ニ在テハ政府ノ財源租稅ヲ除テ他ニ生ズヘキ財源ナシ地方モ亦同様ニシテ昔時ニアテハ今日ノ所謂ユル地方稅ナシ今日ニアリテモ地方ノ財源ハ重ニ國庫ヨリ支出ノ地方費支弁金トス

抑モ地方稅トハ地方限リノ經費ヲ支弁セン爲メ中央政府ノ許可ヲ經由シテ地方住民ニ令シ直接或ハ間接ニ上納セシムヘキ分擔金ナリ故其ノ支弁法徵收法ハ預メ地方代議員ノ議定スヘキモノナリ

地方稅ヲ分擔スルノ理由徵收ノ方法ハ前既ニ國稅ノ篇ニ於テ詳論シタレハ今復茲ニ贅セス地方稅ヲ以テ地方經費ヲ支辨シ地方ノ財政ヲ

スルニハ左ノ二箇ノ元則ヲ認定セサルヘカラズ
 第一地方ニ自治ノ特權ヲ與エ地方ノ經費ハ地方ノ財源ニ因テ支弁シ
 他ノ干渉ヲ受ケサラシムヘシ英國米國等ノ諸邦ハ地方ヲ治ムルノ制
 度此ノ元則ニ從フト雖モ往々弊害ナキヲ免カレズ
 第二地方官ハ治民法ニ熟練セス又地方自治ノ特權ヲ與フル過度ナレ
 ハ一國ノ獨立ニモ係スル失誤ナキヲ保シ難シ故ニ中央政府ハ地方政
 府ノ請見人ノ如ク然リ十分ノ自治權ヲ與エサルナリ而シテ常ニ地方ノ
 政界ヲ監督ス故ニ地方政府ハ中央政府ノ許可ヲ得ズシテ厘毛ノ稅ト
 雖モ課稅スルヲ得ズ

地方稅ノ種類ヲ論ス

地方稅ニ直稅間接稅ノ二種アリ又直稅ニ二種ノ別アリ其ノ一ハサント
 ム、アジシヨノナルト云他ノ一ハ特種稅即チ雜種稅ナリサントム、アジシヨ

ノチル稅トハ國民ノ國稅ヲ拂フキ同時ニ拂ハシムルモノナリ國稅ト
 シテ假令ハ収益百分ノ六七ヲ納メシメ百分ノ五ヲ以テ一國經費ノ支
 辨ニ供シ百分ノ一或ハ二ハ地方費トシテ國庫ヨリ再ヒ政方ニ下ケ渡
 スヘキモノナリ此種ノ稅法ハ實ニ便利ニシテ且無用ノ収稅費ヲ要セ
 サルノ益アルナリ何トナレハ國稅ヲ徵スルト同時ナレハ特別ノ収稅
 員ヲ要セズ

第二雜種稅トハ地方ノ經費ヲ支辨スルノ一部トシテ課スヘキモノニ
 シテ國稅ヲ拂ワサル商業ニ課スル稅假令ハ料理屋酒屋旅客屋遊藝人
 船筏車馬等ニ課スヘキモノナリ雜種稅ノ種類多シト雖モ地方費支弁
 金ハ重ニ「サントム、アジシヨ」即チ中央政府ヨリ下渡スヘキモノ
 ナリ「サントム、アジシヨ」ナルトハ百分一ノ加乘ノ義ナリ

佛國ニ於テ國稅(直稅ニシテ)ハ三千八百五十万ニシテ其內地方費ニ充

ツルモノハ二千二百方ナリ英國ニ於テハ地方自治ノ制度ノ實アソハ
地方ノ經費ハ大概雜種稅而已テ以テ支辨ス其年額ハ六千萬ナリ
第二地方間稅トハ料理屋飲食店ニ課スルノ稅ナリ佛國ニ於テ間稅ノ内
最モ重ナルモノハ地方間稅ナリ甲地方ヨリ乙地方ニ輸入スル物品ニ
課スル稅ナリ此ノ入都稅ハ重ニ飲食物ニ課スヘキモノナリ其ノ叔ム
ル處ロノ年額ハ千百七十方ナリトス入都稅ニ於テモ地方ノ繁寂榮枯
ニ因テ差異アリハリスハ佛國第一ノ都府ナリ而シテ入都稅ハ酒一リト
ルニ四錢位ナリ

入都稅ハ物産ノ運輸ヲ不便ニシテ彼是ノ流用ヲ確礙ス宜シク廢スヘ
キナリヘルナクニ於テハ一千八百六十年ニ當テ此種ノ稅ヲ廢シタリ

明治十七年五月廿三日出版御届
同 年六月八日 刻成發兌

定價金貳拾錢

編纂者

滋賀縣士族

山本金一郎

東京麴町區五番町二番地佛學社

出版人

廣島縣士族

壇上強平

廣島縣備後國沼隈郡浦崎村百七
番邸當時京都府下京區第六組東
側町三十七番戶寄留

元發賣所

太田權七

西京新京極藥師下ル

賣 捌 所

江州大津南保町

太田支店

同 八幡新町

太田支店

同 日野大窪町

太田支店

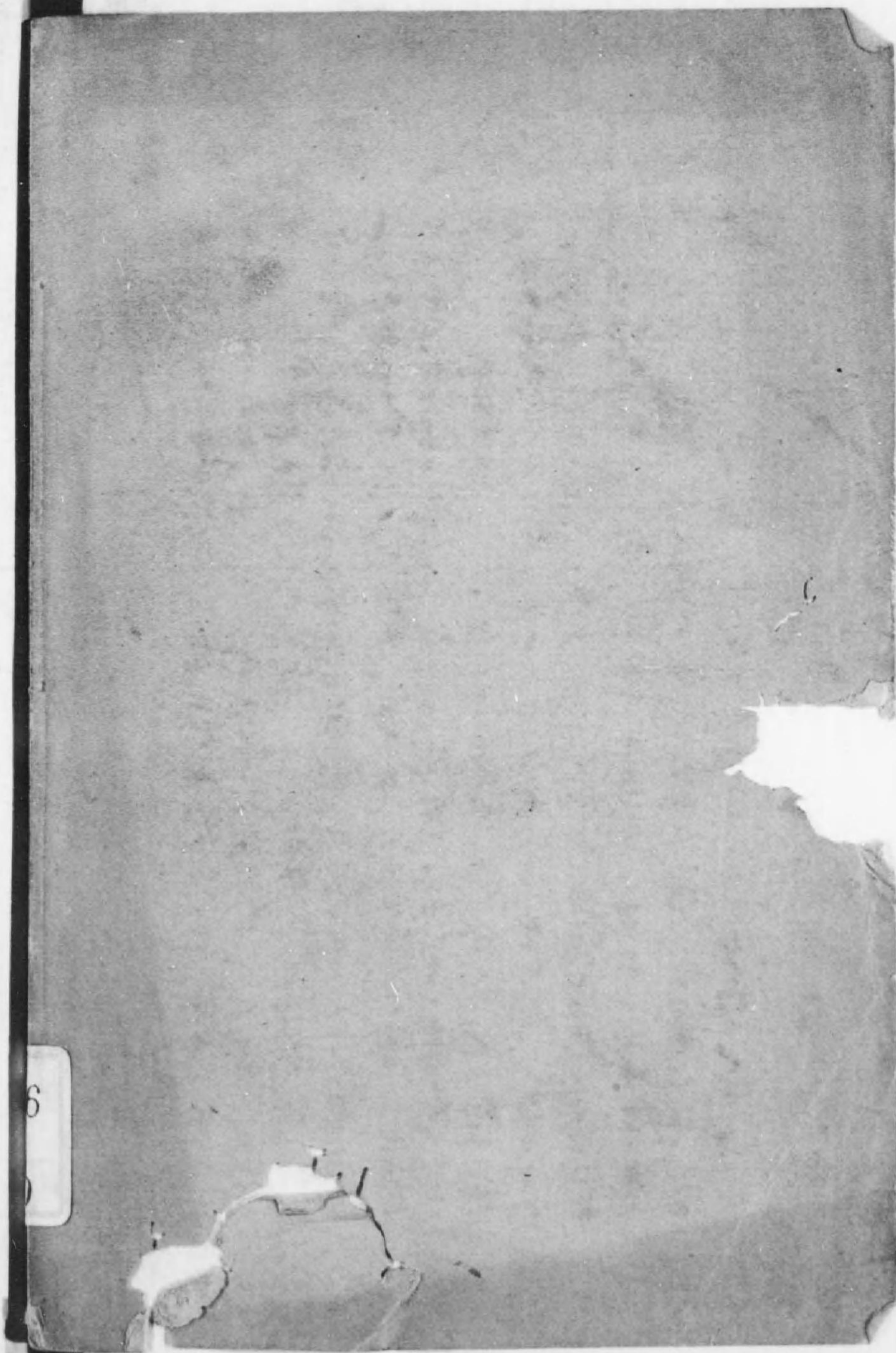
同 夏見

太田支店



Vertical text on the right page, possibly a list or index, with some faint markings and damage.

The right page contains vertical text, likely a list or index, arranged in columns. The text is very faint and difficult to read, but it appears to be organized into several columns. There are some faint markings and damage on this page as well, including a small tear near the bottom center.



6